

Web GUI

概要・基本設定	5
設定環境	5
設定の準備	5
画面構成	7
トップエリア	7
メニューエリア	7
メインエリア	10
コピーライトエリア	10
メインエリアの操作方法	10
現在の設定の保存	11
設定の終了	12
HTTP サーバー機能の無効化	12
コマンドラインインターフェースとの機能の違い	13
システム設定	14
システム	14
システム設定	14
IP 設定	14
パスワード	15
時間	16
システム時間	16
NTP	17
SNMP	17
SNMP 基本設定	18
SNMP コミュニティの作成	19
SNMP コミュニティの設定変更	20
SNMP コミュニティの削除	20
ログ	20
ログ設定	21
アクセスフィルター	22
サービス設定	22
エントリーの追加	22
エントリーの設定変更	23
エントリーの削除	24
トリガー	24

基本設定	24
トリガー設定	25
ポート LED	28
ステータス	29
基本設定	29
ポート設定	29
フィーチャーライセンス	30
フィーチャーライセンス設定	31
フィーチャーライセンスの追加	31
フィーチャーライセンスの削除	31
その他	32
ユーザーインターフェース	32
FTP サーバー	33
TFTP	33
スイッチ設定	34
ポート	34
省電力モード	34
ポート一覧	34
ポート設定	35
ポートステータス表示	36
プロテクション	37
パケットストームプロテクション設定	38
ポート設定	38
パケットストームプロテクション設定	38
ミラーリング	39
トランキング	40
トランクグループの作成	41
トランクグループの設定変更	42
トランクグループの削除	42
バーチャル LAN	42
バーチャル LAN 設定	43
VLAN の作成	43
クラシファイア	45
クラシファイア一覧	46
クラシファイア 追加/変更	46
ハードウェアフィルター	49
エントリ一覧	49
ハードウェアフィルター 追加/変更	49
QoS	50
QoS 基本設定	51
DSCP 設定	52
ポートプライオリティー	53

ポリシーベース QoS	54
QoS ポリシー一覧	55
トラフィッククラス一覧	56
フローグループ一覧	58
RSTP	60
ステータス	60
基本設定	60
ポート設定	61
MSTP	63
ステータス	64
基本設定	64
CIST/MST インスタンス一覧	65
IGMP Snooping	72
設定	72
IP マルチキャストアドレス一覧	73
LDF 検出	74
ポート設定	74
受信レート検出	75
ポート設定	76
EPSR	77
EPSR ドメイン-追加	78
EPSR ドメイン-変更	80
UDLD	81
基本設定	81
ポート設定	82
その他	82
フォワーディングデータベース	83
BPDU パケット透過	83
EAP パケット透過	83
セキュリティ設定	85
ポートセキュリティ	85
ポート一覧	85
ポートセキュリティ設定	85
機器監視	87
システム情報	87
ポートの状態表示	87
ポートステータス表示	88
システム情報の自動更新	89
システム情報/ハードウェア情報/平均 CPU 使用率	90
詳細情報	90
ログ	91
ログカウンター	92

ログ表示条件	92
統計カウンター	93
スイッチカウンター	93
ポート一覧	94
ポートカウンター表示	94
FDB	95
FDB 表示条件	96
スタティックエントリー登録	97
スタティックエントリー削除	98
全ダイナミックエントリー削除	98
ハードウェアフィルター	98
ハードウェアフィルター カウンター表示	99
ポリシーベース QoS	100
QoS ポリシー カウンター表示	101
MSTP	102
IGMP Snooping	104
LDF 検出	105
受信レート検出	106
EPSR	106
EPSR カウンター表示	107
UDLD	108
UDLD 対向機器表示	108
ポート一覧	108
UDLD-ポート詳細情報表示	109
マネージメント	110
ポートリセット	110
リセットポート選択	110
コンフィグファイル	110
設定ファイル	111
設定保存	111
設定表示	111
ファイル管理	112
ファイル一覧	114
設定ファイルの転送	114
ファームウェア情報の変更	114
ファームウェアの転送	114
Internet Explorer 7 以上を使用する場合の注意	114
Internet Explorer 8 を使用する場合の注意	115
再起動	115

概要・基本設定

本製品は、Web ブラウザーを利用したグラフィカル・ユーザー・インターフェース（GUI）をサポートしています。Web ブラウザーから本製品にアクセスして、設定の変更や参照を行うことも可能です。Web GUI の使用について説明します。

設定環境

本製品で Web GUI を使用する場合は、下記の環境でご使用ください。

- 対応 OS は、Windows XP、Windows Vista および Windows 7 です。Web ブラウザーは、Microsoft Internet Explorer 6（Windows 版）以上を使用してください。
 - 1024 × 768 以上の解像度のモニターを使用して頂くことをおすすめします。
 - ファイル管理は、Internet Explorer の HTTP 機能を利用します。
- ◇ 1024 × 768 以上の解像度のモニターでない場合、一部のフレームが表示されないことがあります。
- ◇ 「ポップアップをブロックする」が有効な場合、本機能を使用することはできません。「ツール」メニューの「インターネットオプション」を選択し、「プライバシー」の「ポップアップ ブロック」の設定において、本製品の IP アドレスを許可する設定としてください。
- ◇ Internet Explorer 7 以上を使用し、コンフィグファイルやファームウェアを転送する場合は、事前に設定が必要となります。詳細は「Web GUI」/「マネージメント」をご覧ください。

設定の準備

本製品の Web GUI 機能を使用するためには、まず、下記の設定を行います。

- 本製品の IP アドレスを設定する
 - 本製品の HTTP サーバー機能を有効にする
- ◇ Web GUI を使用するには、あらかじめコンソールターミナルからログインし、本製品に IP アドレス等を設定しておく必要があります。IP の設定については、「IP」/「概要・基本設定」をご覧ください。HTTP サーバー機能については、「運用・管理」/「HTTP サーバー」をご覧ください。

本製品にアクセスする手順は、下記のとおりです。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. 「アドレス」に、スイッチの IP アドレスを入力し、「Enter」キーを押します。
3. パスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。
「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。ここでは、デフォルト設定の「manager」と「friend」を入力するものとします。入力したら、「OK」をクリックします。

IA800M series のサーバー 192.168.1.105 にはユーザー名とパスワードが必要です。

警告: このサーバーは、ユーザー名とパスワードを安全ではない方法で送信することを要求しています (安全な接続を使わない基本的な認証)。

ユーザー名(U):

パスワード(P):

☐ パスワードを記憶する(R)

OK キャンセル

4. ログインに成功すると、下記の画面が表示されます。

CentreCOM IA810M

機器監視 - システム情報

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 機器監視
 - システム情報
 - ログ
 - 統計カウンター
 - FDB
 - ハードウェアフィルタ
 - ポリシーベースQoS
 - MSTP
 - IGMP Snooping
 - LDP検出
 - 受信レポート検出
 - EPSSR
 - UDLD
- マネージメント

表示更新 自動更新 ☒ する ☐ しない 更新周期 1 (1-99) (分) 設定

システム情報

SysDescription	CentreCOM IA810M Ver 2.3.2 B04
SysContact	
SysLocation	
SysName	
SysUpTime	771400(02:08:34)
Release Version	2.3.2
Release built	B04 (Apr 21 2011 at 17:34:59)

ハードウェア情報

DRAM	65536 kB
Flash	16384 kB
MACアドレス	00-00-F4-27-75-13

Flash PROM	RAM	SW chip	UART	温度
Good	Good	Good	Good	Normal

電圧

1.2 V	2.5 V(A)	2.5 V(B)	3.3 V
Normal	Normal	Normal	Normal

平均CPU使用率

Last second	Last minute	Last 5 minutes	Last 15 minutes
2%	4%	4%	4%

詳細情報表示 詳細情報保存

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

- デフォルトのパスワードを使い続けることはセキュリティ上好ましくありませんので、初回ログイン時に変更することをおすすめします。詳細は「運用・管理」/「システム」をご覧ください。
- 本製品は、同時に複数のユーザーが、Web インターフェースからログインすることが可能です。一方のユーザーが設定を変更した後に、別のユーザーが同じ設定を変更した場合、設定は上書きされますのでご注意ください。

画面構成

設定画面は、下記の 4 つのエリアで構成され、それぞれフレームで分割されています。

トップエリア

トップエリア（画面上部のフレーム）には、製品名、現在選択されているメニューの項目、ファームウェアバージョン、本製品の MAC アドレスが表示されます。

現在選択されている項目は、「大項目 - 小項目」の形式で表示されます。

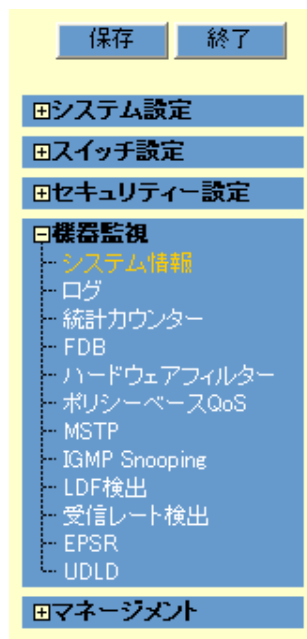
大項目として表示されるのは、メニュー項目をグループ単位で分割するグループ名です。小項目として表示されるのは、メニュー項目の最小単位の機能名です。どちらも、後述のメニューエリアにも表示されます。

メニューエリア

メニューエリア（画面左のフレーム）には、メニューがツリー状に表示されます。

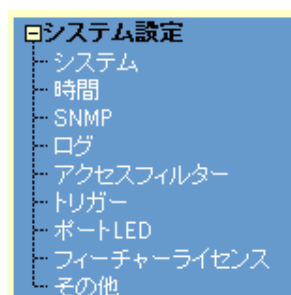
メニューの大項目（グループ名）をクリックすると、小項目が表示されます。

小項目（機能名）をクリックすると、選択された項目は黄色で表示され、後述のメインエリアに、その機能に関する設定項目や現在の設定状態が表示されます。

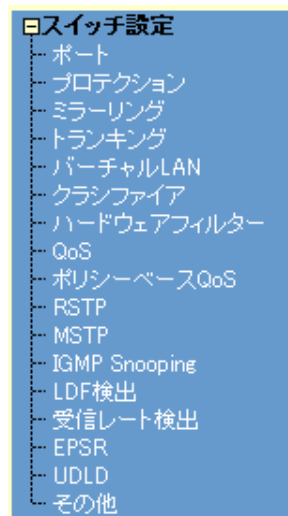


メニューの大項目は、下記のとおりです。

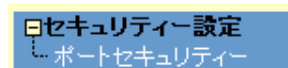
システム設定（詳細は、「システム設定」をご覧ください）



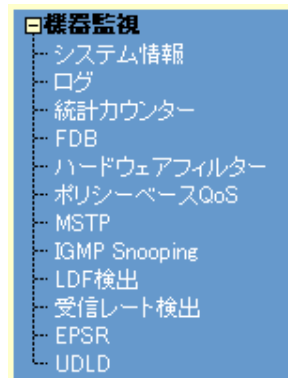
スイッチ設定（詳細は、「スイッチ設定」をご覧ください）



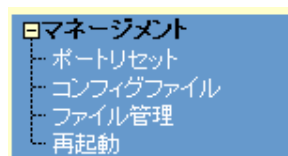
セキュリティ設定（詳細は、「セキュリティ設定」をご覧ください）



機器監視（詳細は、「機器監視」をご覧ください）



マネージメント（詳細は、「マネージメント」をご覧ください）



メニューの上には、「保存」、「終了」の2つのボタンがあります。
2つのボタンの機能は次のとおりです。

- 「保存」: 現在の設定内容（メモリー上の設定内容）をスクリプトファイルに保存します
- 「終了」: 表示しているウィンドウを閉じ、操作を終了します

メインエリア

メインエリア（画面右のフレーム）には、メニューエリアで選択した小項目（機能名）に関する、設定項目や現在の設定状態が表示されます。

メインエリアでの基本的な操作方法については、後述の「メインエリアの操作方法」を参照してください。

The screenshot displays the main configuration interface, divided into two main sections: 'システム設定' (System Settings) and 'IP設定' (IP Settings). Below these is a 'パスワード' (Password) section.

システム設定 (System Settings):

- システム名 (SysName): Text input field.
- 設置場所 (SysLocation): Text input field.
- 責任者 (SysContact): Text input field.
- Buttons: 設定 (Set) and リセット (Reset).

IP設定 (IP Settings): (※本設定を行うと、本体との通信ができなくなる可能性があります)

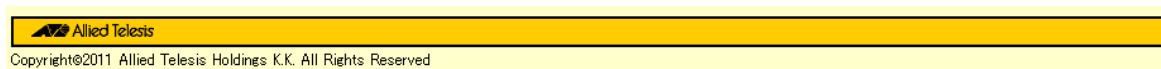
- IPアドレス (IP): 192 . 168 . 1 . 105 (Static)
- サブネットマスク (SubnetMask): 255 . 255 . 255 . 0
- ゲートウェイアドレス (Gateway): 0 . 0 . 0 . 0
- インターフェース (VLAN): default
- ディレクティッドブロードキャスト応答 (DirectedBroadcast): No (dropdown menu)
- Buttons: 設定 (Set) and リセット (Reset).

パスワード (Password):

- Text input field with masked characters (dots).
- Button: 変更 (Change).

コピーライトエリア

コピーライトエリア（画面下部のフレーム）には、弊社のロゴとコピーライトが表示されます。



メインエリアの操作方法

メインエリアでよく使用するボタンなどの操作方法是、次のとおりです。

「設定」ボタン

「設定」ボタンをクリックすると、設定の変更が本製品に反映されます。

ただし、「設定」ボタンをクリックしただけでは、設定内容はスクリプトファイルに保存されませんので、本製品を再起動すると、設定は元に戻ってしまいます。

設定内容をスクリプトファイルに保存するには、メニューエリアの上にある、「保存」ボタンをクリックしてください。

次の設定の変更は、再起動後に有効になります。次の設定を変更した場合は、本製品を再起動してください。

- QoS の有効/無効

- 「設定」ボタンをクリックして設定を変更すると、メニューエリアの「保存」ボタンの色が赤くなります。設定を保存する必要がある場合は、「保存」ボタンをクリックするのを忘れないようにしてください。

- 「リセット」ボタン

「リセット」ボタンをクリックすると、設定の変更や入力した値が、変更前の状態に戻ります。

- 設定の変更や値の入力後に「設定」ボタンを押した場合は、変更前の状態には戻りません。

- 「追加」ボタン

グループやエントリーを追加します。設定のダイアログボックスが表示されますので、そこで必要な設定を行います。

- ここで表示される設定項目には、デフォルトの設定値が表示されます。

- 「変更」ボタン

グループやエントリーの設定を変更します。設定のためのダイアログボックスが表示されますので、そこで必要な変更を行います。

- ここで表示される設定項目には、現在の設定値が表示されます。

- 「削除」ボタン

グループやエントリーを削除します。

その他の操作方法については、各メニューの説明を参照してください。

現在の設定の保存

設定の変更を行い、メニューエリアの「設定」ボタンをクリックすると、設定の変更は、ただちに、本製品に反映されます。

ただし、「設定」ボタンをクリックしただけでは、設定内容はスクリプトファイルに保存されませんので、本製品を再起動すると、設定は元に戻ってしまいます。

次の起動時以降も現在と同じ設定を使いたい場合は、設定内容を設定ファイルとして保存し、起動時にそのファイルを使用するように指定しなければなりません。

設定内容を設定ファイルに保存するには、メニューエリアの上にある、「保存」ボタンをクリックしてください。

- 「設定」ボタンをクリックして設定を変更すると、メニューエリアの「保存」ボタンの色が赤くなります。設定を保存する必要がある場合は、「保存」ボタンをクリックするのを忘れないようにしてください。

「保存」ボタンをクリックすると、「コンフィグレーション保存」が表示されます。

次の3つの保存方法の中から1つを選択し「設定」ボタンをクリックすると、現在の設定内容が設定ファイルに保存されます。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定は保存されません。

- 「起動時設定ファイルに保存する」: 「起動時設定ファイル」に設定されている設定ファイルに、設定を保存
- 「既存ファイルに保存する」: 選択したファイルに設定を保存
- 「新規ファイルに保存する」: ファイルを新規に作成し、設定を保存

設定の終了

Web GUI による設定を終了する場合は、メニューエリアの「終了」ボタンをクリックします。

「終了」ボタンをクリックすると、終了確認のダイアログボックスが表示されます。



「はい」ボタンをクリックすると、ウィンドウが閉じられます。

「いいえ」ボタンをクリックすると、元の設定画面に戻ります。

HTTP サーバー機能の無効化

Web GUI を使用しない場合は、セキュリティを高めるために、HTTP サーバー機能を無効にしてください。
HTTP サーバー機能については、「運用・管理」/「HTTP サーバー」をご覧ください。

コマンドラインインターフェースとの機能の違い

コマンドラインインターフェースで可能なことは、Web GUI でも基本的には可能ですが、次の項目については、Web GUI では実行することができません。

- PING
- DHCP クライアント機能の有効/無効
- SNTP モジュールの設定消去
- SNTP モジュールのリセット
- ログ設定の削除
- コンソール（ログインセッション）の 1 画面当たりの表示行数の設定
- スパニングツリープロトコルの設定消去
- QoS の設定の消去
- フラッシュメモリーの初期化
- ファイルのコピー
- スクリプトの実行
- コマンド入力の補完機能の設定
- 表示コマンドの一部の項目が表示されない
- 受信レート検出のフレーム種別設定

システム設定

システム

システム情報や IP アドレス情報に関する設定、および、ログインパスワードの設定を行います。

システムの詳細については、「運用・管理」/「システム」をご覧ください。

「運用・管理」/「システム」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

システム設定

システム名などの設定を行います。

システム名 (SysName)

システム名を入力します。

設置場所 (SysLocation)

設置場所を入力します。

責任者 (SysContact)

連絡先を入力します。

IP 設定

IP アドレス情報に関する設定を行います。

IP 設定の詳細については、「IP」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「IP」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、下記の項目以外は同じことができます。

- PING
- DHCP クライアント機能の有効/無効

※ IP アドレスに関する設定を変更すると、本製品との通信ができなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

IP アドレス (IP)

システムに割り当てる IP アドレスを設定します。

サブネットマスク (SubnetMask)

サブネットマスクを設定します。省略時は IP アドレスのクラス標準マスクが用いられます。

ゲートウェイアドレス (Gateway)

ゲートウェイアドレスを設定します。ルーターを介して通信を行う場合に設定します。

インターフェース (VLAN)

IP アドレスを割り当てるインターフェース (VLAN) を設定します。

ディレクティッドブロードキャスト応答 (DirectedBroadcast)

ディレクティッドブロードキャスト PING へ応答するかどうかを設定します。

パスワード

ログインパスワードを設定します。

「変更」ボタンをクリックすると、パスワード変更のダイアログボックスが表示されます。

パスワード変更

現パスワード

新パスワード

新パスワード(再入力)

設定 キャンセル リセット

現パスワード

現在のパスワードを入力します。入力したパスワードは、「・」で表示されます。

新パスワード

新しいパスワードを入力します。入力したパスワードは、「・」で表示されます。

新パスワード（再入力）

確認のために、もう一度新しいパスワードを入力します。入力したパスワードは、「・」で表示されます。

時間

本製品では、システム時間の手動設定、および、SNTP（Simple Network Time Protocol）を利用した時刻設定が可能です。

SNTPの詳細については、「運用・管理」/「SNTP」をご覧ください。

「運用・管理」/「SNTP」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUIでも、次の項目以外は同じことができます。

- SNTP モジュールの設定消去
- SNTP モジュールのリセット

CentreCOM IA810M

システム設定 - 時間

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

- システム
- 時間
- SNMP
- ログ
- アクセスフィルター
- トリガー
- ポートLED
- ファイチャーライセンス
- その他

スイッチ設定

セキュリティ設定

- ポートセキュリティ

機器監視

マネージメント

システム時間

年/月/日: 2011 / 06 / 06 (月曜日) 時:分:秒: 13 : 35 : 09

設定 リセット

NTP

☐ NTP有効

タイムゾーン(UTC offset): JST(+9:00)

UTC offset: +09:00:00

NTPサーバー(NTP Peer): 0 . 0 . 0 . 0

NTPポート番号: 123 [1-65535]

設定 リセット

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

システム時間

内蔵時計の日付と時刻を設定します。

年/月/日

日付を入力します。

時:分:秒

時刻を入力します。

NTP

SNTP に関する設定を行います。

NTP 有効

SNTP モジュールを有効にする場合に、チェックを付けます。

SNTP モジュールを無効にする場合に、チェックを外します。

タイムゾーン (UTC offset)

協定世界時からのオフセットを指定します。定義済みのタイムゾーン名をリストから選択します。

UTC offset

現在設定されている、協定世界時 (UTC) からのオフセットが表示されます。

NTP サーバー (NTP Peer)

時刻同期をとる SNTP サーバーの IP アドレスを設定します。SNTP サーバーは 1 つしか設定できません。

NTP ポート番号

SNTP サーバーの UDP ポートを設定します。

SNMP

ネットワーク管理プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) を利用するための設定を行います。

SNMP の詳細については、「運用・管理」/「SNMP」をご覧ください。

「運用・管理」/「SNMP」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

システム設定 - SNMP

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定
 システム
 時間
 SNMP
 ログ
 アクセスフィルター
 トリガー
 ポートLED
 フィーチャーライセンス
 その他

スイッチ設定
 セキュリティ設定
 機器監視
 マネージメント

SNMP基本設定

☐ SNMP有効

SNMPポート番号 161 [1-65535] トラップポート番号 162 [1-65535]

生成トラップ

☐ ColdStart ☐ Link ☐ NewRoot
☐ WarmStart ☐ Temperature ☐ LoopDetection
☐ Authentication ☐ Voltage ☐ StormDetection
☐ Login/Logout ☐ TopologyChange ☐ EPSR
☐ MSTP ☐ Trigger ☐ Intrusion
☐ NewAddress ☐ UDLD

すべて選択 すべて解除

リンクアップ/リンクダウントラップ生成(Interface)

1 3 5 7 9
☐ ☐ ☐ ☐ ☐
 2 4 6 8 10
☐ ☐ ☐ ☐ ☐

すべて選択 すべて解除

設定 リセット

SNMPコミュニティ

コミュニティ名	状態	Trap	アクセス権	アクセス許可

追加 変更 削除

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

SNMP 基本設定

SNMP 有効

SNMP モジュールを有効にする場合にチェックを付けます。

SNMP モジュールを無効にする場合にチェックを外します。

SNMP ポート番号

SNMP (get/set) のリスニングポートを変更します。

トラップポート番号

SNMP トラップのリスニングポートを変更します。

生成トラップ

トラップの生成を有効にするトラップにチェックを付けます。

トラップの生成を無効にするトラップのチェックを外します。

「すべて選択」ボタンをクリックすると、すべてのトラップにチェックが付きます。

「すべて解除」ボタンをクリックすると、すべてのトラップのチェックが外れます。

リンクアップ/リンクダウントラップ生成 (Interface)

リンクアップ/リンクダウントラップを生成するインターフェースにチェックを付けます。
リンクアップ/リンクダウントラップを生成しないインターフェースのチェックを外します。

「すべて選択」ボタンをクリックすると、すべてのポートにチェックが付きます。

「すべて解除」ボタンをクリックすると、すべてのポートのチェックが外れます。

SNMP コミュニティー

作成されているコミュニティの一覧が表示されます。

SNMP コミュニティーの作成

SNMP コミュニティーを作成するには、「追加」ボタンをクリックします。

「追加」ボタンをクリックすると、「SNMP コミュニティー - 追加」が表示されます。

SNMPコミュニティ - 追加

コミュニティ名 (Community)

☐ 本コミュニティを有効にする

管理ステーション (Manager)

1	0	0	0	0
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
4	0	0	0	0

アクセス権 (Access)

read-only ▼

☐ アクセス許可 (Open)

☐ 本コミュニティにトラップ送出

トラップ送信先ホスト (TrapHost)

1	0	0	0	0
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
4	0	0	0	0

送出トラップ

<input checked="" type="checkbox"/> ColdStart	<input checked="" type="checkbox"/> Link	<input checked="" type="checkbox"/> NewRoot
<input checked="" type="checkbox"/> WarmStart	<input checked="" type="checkbox"/> Temperature	<input checked="" type="checkbox"/> LoopDetection
<input checked="" type="checkbox"/> Authentication	<input checked="" type="checkbox"/> Voltage	<input checked="" type="checkbox"/> StormDetection
<input checked="" type="checkbox"/> Login/Logout	<input checked="" type="checkbox"/> TopologyChange	<input checked="" type="checkbox"/> EPSR
<input checked="" type="checkbox"/> MSTP	<input checked="" type="checkbox"/> Trigger	<input checked="" type="checkbox"/> Intrusion
<input checked="" type="checkbox"/> NewAddress	<input checked="" type="checkbox"/> UDLD	

すべて選択
すべて解除

設定
キャンセル
リセット

次の項目を設定します。

「コミュニティ名 (Community)」

コミュニティ名を入力します。

「本コミュニティを有効にする」

作成したコミュニティを有効にする場合にチェックを付けます。

無効にする場合はチェックを外します。

「管理ステーション (Manager)」

SNMP オペレーションを許可する管理ステーションを指定します。

「アクセス権 (Access)」

コミュニティのアクセス権をリストから選択します。

「アクセス許可 (Open)」

「管理ステーション (Manager)」で指定したホストだけでなく、すべての SNMP リクエストを受け入れる場合にチェックを付けます。

「本コミュニティにトラップ送出」

作成した SNMP コミュニティにおけるトラップの生成を有効にする場合にチェックを付ける。無効の場合は、チェックを外します。

「トラップ送信先ホスト (TrapHost)」

SNMP トラップの送信先ホストを指定します。

「送出トラップ」

送出するトラップにチェックを付けます。送出しないトラップのチェックを外します。

SNMP コミュニティの設定変更

作成されたコミュニティの一覧から、設定を変更したいコミュニティにチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「SNMP コミュニティ - 変更」が表示されます。ここでコミュニティの設定の変更や、管理ステーション、トラップホストの追加/削除を行います。

SNMP コミュニティの削除

作成されたコミュニティの一覧から、設定を変更したいコミュニティにチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、コミュニティは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、コミュニティは削除されません。

ログ

ログ機能の設定を行います。

ログ機能の詳細については、「運用・管理」/「ログ」をご覧ください。

「運用・管理」/「ログ」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、下記の項目以外は同じことができます。

- ログ設定の削除

ログ設定

ログ有効

ログ機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

ログ機能を無効にする場合に、チェックを外します。

ログ出力先 (Output)

ログ出力先を指定します。

メモリに出力する場合は、「メモリ (PERMANENT)」にチェックを付けます。

syslog サーバーに出力する場合は、「syslog サーバー (SYSLOG)」にチェックを付けます。

- ㄟ ログ機能を有効にし、出力先を「メモリ (PERMANENT)」に設定している場合は、機器監視のログメニューで、ログを表示させることができます。

出力ログレベル (Severity)

出力先がメモリ (PERMANENT) の場合のメッセージのログレベルを指定します。「レベル」と比較演算子をリストから選択します。

syslog サーバーアドレス

syslog のメッセージの転送先 IP アドレスを指定します。

syslog ポート番号

syslog サーバーへの UDP ポートを指定します。

syslog レベル (Severity)

出力先が syslog サーバー (SYSLOG) の場合のメッセージのログレベルを指定します。「レベル」と比較演算

子をリストから選択します。

ファシリティ (Facility)

syslog サーバーへ送信するログファシリティ値をリストから選択します。

アクセスフィルター

本製品宛ての通信に適用するセキュリティ機能に関する設定を行います。

アクセスフィルターの詳細については、「運用・管理」/「アクセスフィルター」をご覧ください。

「運用・管理」/「アクセスフィルター」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

システム設定 - アクセスフィルター

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

- システム
- 時間
- SNMP
- ログ
- アクセスフィルター
- トリガー
- ポートLED
- フィーチャーライセンス
- その他

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

サービス設定

SNMP : ☐ 有効 ☐ 許可(PASS)

FTP : ☐ 有効 ☐ 許可(PASS)

TELNET : ☐ 有効 ☐ 許可(PASS)

HTTP : ☐ 有効 ☐ 許可(PASS)

ICMP : ☐ 有効 ☐ 許可(PASS)

GLOBAL : ☐ 有効 ☐ 許可(PASS)

設定 リセット

エントリー設定

☒ SNMP ☐ FTP ☐ TELNET ☐ HTTP ☐ ICMP ☐ GLOBAL

エントリー	IPアドレス	マスク	アクション	ポート

追加 変更 削除

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

サービス設定

アクセスフィルター機能を有効にしたいサービスに、チェックを付けます。

各サービスに対応するデフォルトの処理をリストから選択します。

エントリーの追加

「エントリー設定」で、エントリーを追加するサービスを選択します。
 アクセスフィルターのエントリーを作成するには、「追加」ボタンをクリックします。
 「追加」ボタンをクリックすると、「アクセスフィルター - 追加」が表示されます。

アクセスフィルター - 追加

サービス(Service)

IPアドレス(IP)

マスクパターン(Mask)

アクション(Action)

ポート(Ports)
 1 3 5 7 9
☐ ☐ ☐ ☐ ☐
 2 4 6 8 10
☐ ☐ ☐ ☐ ☐

次の項目を入力します。

サービス (Service)

「エントリー設定」で選択したサービス名が表示されます。

IP アドレス (IP)

フィルタリング対象の IP アドレスを指定します。

アクション (Action)

パケットがフィルターの条件に一致したときのアクションをリストから選択します。

マスクパターン (Mask)

マスクパターンを指定します。

ポート (Ports)

アクセスフィルター機能を有効にするスイッチポート番号にチェックを付けます。

アクセスフィルター機能を無効にするスイッチポート番号のチェックを外します。

エントリーの設定変更

作成されたエントリーの一覧から、設定を変更したいエントリー番号にチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「アクセスフィルター-変更」が表示されます。ここでアクセスフィルターの設定の変更を

行います。

エントリーの削除

作成されたエントリーの一覧から、設定を変更したいエントリー番号にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、エントリーは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、エントリーは削除されません。

トリガー

エコトリガーの設定を行います。

エコトリガーの詳細については、「省エネ機能」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「省エネ機能」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

システム設定 - トリガー

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

- システム
- 時間
- SNMP
- ログ
- アクセスフィルター
- トリガー
- ポートLED
- フィチャーライセンス
- その他

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

基本設定

☐ トリガー機能有効

設定 リセット

トリガー設定

トリガー番号	トリガー名	有効	種類	詳細	テストモード	Repeat	Script	トリガー有効日

追加 変更 削除 詳細情報表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

基本設定

トリガー機能有効

エコトリガー機能を有効にする場合チェックを付けます。

エコトリガー機能を無効にする場合チェックを外します。

トリガー設定

作成されているエコトリガーの一覧を表示しています。

追加

「追加」ボタンをクリックすると「トリガー設定-追加」が表示されます。ここでエコトリガーの設定の変更を行います。

トリガー設定 - 追加

トリガー番号(TriggerID)

 [1~10]

トリガー名(Name)

☒ **本トリガーを有効にする**

トリガーの種類

Power Save ▼

パワーセーブモード(PMode)

LED Off ▼

本モードを有効にするには、ポートLEDの設定が必要です。

起動時刻 時:分(StartTime)

 :

終了時刻 時:分(EndTime)

 :

～

トリガー有効日

☒ 曜日リスト(Days)

☒ 月
 ☒ 火
 ☒ 水
 ☒ 木
 ☒ 金
 ☒ 土
 ☒ 日

☐ 開始/終了日(Date)

対象ポート(Port)

1 3 5 7 9
☐ ☐ ☐ ☐ ☐

2 4 6 8 10
☐ ☐ ☐ ☐ ☐

すべて選択

すべて解除

設定

キャンセル

リセット

トリガー番号

トリガー番号(1～10)を設定します。

トリガー名(Name)

トリガー名を設定します。

本トリガーを有効にする

エコトリガーを有効にする場合チェックを付けます。

エコトリガーを無効にする場合チェックを外します。

トリガーの種類

Power Save のみ。

パワーセーブモード (PSMode)

パワーセーブのモードをリストから選択します。

起動時刻 時：分 (StartTime)

トリガーの起動時刻を指定します。

終了時刻 時：分 (EndTime)

トリガーの終了時刻を指定します。

トリガー有効日

曜日リスト：一週間のうちトリガーが有効な曜日にチェックを入れます。

開始/終了日：トリガーが有効な期間の開始日、トリガーが終了する日を指定します。

対象ポート (Port)

対象となるポートを指定します。

変更

作成されたトリガーの一覧から、設定を変更したいトリガー番号にチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「トリガー設定-変更」が表示されます。ここでエコトリガーの設定の変更を行います。

トリガー設定 - 変更

トリガー番号(TriggerID)
 [1-10]

トリガー名(Name)

☒ **本トリガーを有効にする**

トリガーの種類

パワーセーブモード(PMode)

本モードを有効にするには、ポートLEDの設定が必要です。

起動時刻 時:分(StartTime)
 :

終了時刻 時:分(EndTime)
 :

トリガー有効日
☒ 曜日リスト(Days)

☒ 月
 ☒ 火
 ☒ 水
 ☒ 木
 ☒ 金
 ☒ 土
 ☒ 日

☐ 開始/終了日(Date)

対象ポート(Port)

1	3	5	7	9
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	4	6	8	10
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

削除

作成されたトリガーの一覧から、設定を変更したいトリガー番号にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、トリガーは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、トリガーは削除されません。

詳細情報表示

作成されたトリガーの一覧から、表示したいトリガー番号にチェックを付けて「詳細情報表示」ボタンをクリックすると、「トリガー-詳細表示」が表示されます。

表示される項目については、SHOW TRIGGER コマンド(「省エネ機能」の 20 ページ)を参照してください。

トリガー – 詳細表示

トリガー 1

トリガー名(Name)

TEST

繰り返し設定(Repeat)

Yes

トリガーの種類と詳細(Type and details)

PS-LEDOFF(22:00-05:00)

作成/最終修正日時(Created/Modified)

2011-06-06 13:39:11

トリガー有効日(Days or Date)

月火水木金土日

トリガー起動回数(Number of Actions)

0

対象ポート(Port)

All

最終起動日時>Last Activation)

***** **:*:*

トリガー有効/無効(Enabled)

Enabled

スクリプト数(Number of scripts)

0

テストモード(Test)

No

OK

ポート LED

ポート LED の設定を行います。

ポート LED の詳細については、「省エネ機能」/「概要・基本設定」のエコ LED をご覧ください。

「省エネ機能」/「概要・基本設定」のエコ LED では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

システム設定 - ポートLED

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

- システム設定
 - システム
 - 時間
 - SNMP
 - ログ
 - アクセスフィルター
 - トリガー
 - ポートLED
 - フィーチャライセンス
 - その他
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 様番監視
- マネージメント

ステータス

LEDモード : LED On

基本設定

LEDモード (Mode)

LED On ▼

設定 リセット

ポート設定

ポート	LED動作	受信レートしきい値(Kbps)	受信レート(Kbps)	リンク	パワーセーブ	LEDステータス
<input type="checkbox"/> 1	Off	-	-	Up	No	On
<input type="checkbox"/> 2	Off	-	-	Up	No	On
<input type="checkbox"/> 3	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 4	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 5	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 6	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 7	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 8	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 9	Off	-	-	Down	No	Off
<input type="checkbox"/> 10	Off	-	-	Down	No	Off

変更
全ポート変更
再表示

ステータス

LED モード

LED モードの現在の設定を表示します。

基本設定

LED モード (Mode)

LED モードをリストから選択し、「設定」ボタンをクリックします。

ポート設定

ポートを選択し、「変更」ボタンをクリックすると、「ポート LED-ポート設定」が表示されます。

ポートLED - ポート設定

ポート 1

LED動作(Action)
OFF ▼

受信レートしきい値(Rate)
Disable ▼

設定
キャンセル
リセット

LED 動作 (Action)

LED モードが OFF の場合のアクションをリストから選択します。

LED の点灯/消灯を設定します。ON を指定するとポート LED が点灯 (ポート LED 消灯モード無効) になり、OFF を指定するとポート LED が消灯 (ポート LED 消灯モード有効) になります。LED モードが OFF の場合のみ有効です。

受信レートしきい値 (Rate)

リストから Enable/Disable を選択します。

Enable を選択した場合、ポート LED を消灯させる受信レートのしきい値を Kbps (Kilobits per second) で指定します。

Disable を選択するとポート LED は消灯します。

フィーチャーライセンス

フィーチャー (追加機能) ライセンスの設定を行います。

フィーチャーライセンスの詳細については、「運用・管理」/「システム」をご覧ください。

「運用・管理」/「システム」/「フィーチャー (追加機能) ライセンス」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

フィーチャーライセンス設定

設定されているフィーチャーライセンスの一覧を表示しています。

フィーチャーライセンスの追加

「追加」ボタンをクリックすると「フィーチャーライセンス-追加」が表示されます。ここでフィーチャーライセンスの設定の変更を行います。

フィーチャー名 (Feature)

フィーチャー名 (1～12文字) を設定します。

パスワード (Password)

パスワードを入力します。

フィーチャーライセンスの削除

追加されたフィーチャーライセンスの一覧から、設定を変更したいフィーチャー名にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、フィーチャーライセンスは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、フィーチャーライセンスは削除されません。

その他

コンソール、Telnet 関連機能、および、FTP/TFTP サーバーの設定を行います。

コンソール、Telnet 関連機能の詳細については、「運用・管理」/「ターミナルサービス」をご覧ください。「運用・管理」/「ターミナルサービス」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- コンソール（ログインセッション）の 1 画面当たりの表示行数の設定
- コマンド入力の補完機能の設定

CentreCOM IA810M

システム設定 - その他

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

☒ システム設定
☐ システム
☐ 時間
☐ SNMP
☐ ログ
☐ アクセスフィルター
☐ トリガー
☐ ポートLED
☐ フィーチャーライセンス
☒ その他

☒ スイッチ設定
☒ セキュリティ設定
☒ 機器監視
☒ マネージメント

ユーザーインターフェース

☒ コンソール(非同期)ポート有効 コンソールタイムアウト: 300 [0-32767](秒)
☒ Telnet接続有効 Telnetポート番号: 23 [1-65535]
☒ Webインターフェース有効 Telnetセッション最大数: 4
☐ HTTPポート番号: 80 [1-65535]

設定 リセット

FTPサーバー

☒ FTPサーバー有効 ポート番号: 21 [1-65535]

設定 リセット

TFTP

ポート番号: 69 [1-65535]

設定 リセット

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ユーザーインターフェース

コンソール、Telnet 関連機能について、設定を行います。

コンソール (非同期) ポート有効

コンソールポートからのログインを有効にする場合に、チェックを付けます。

コンソールポートからのログインを無効にする場合に、チェックを外します。

コンソールタイムアウト

コンソールからのログインセッションで、入力待ちの状態が続いたときセッションが切断されるまでの時間を指定します。

Telnet 接続有効

Telnet サーバー機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

Telnet サーバー機能を無効にする場合に、チェックを外します。

Telnet ポート番号

Telnet サーバーのリスニング TCP ポートを指定します。

Telnet セッション最大数

Telnet セッションの最大接続数をリストから選択します。

Web インターフェース有効

HTTP サーバーを有効にする場合に、チェックを付けます。

HTTP サーバーを無効にする場合に、チェックを外します。

⚡ HTTP サーバーを無効にすると、本製品との通信ができなくなりますので、ご注意ください。

HTTP ポート番号

HTTP プロトコルのポート番号を指定します。

FTP サーバー

FTP サーバー有効

FTP サーバー機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

FTP サーバー機能を無効にする場合に、チェックを外します。

ポート番号

FTP サーバーのリスニング TCP ポートを指定します。

TFTP

ポート番号

TFTP サーバーの UDP ポートを指定します。

スイッチ設定

ポート

スイッチポートの各種設定を行います。

CentreCOM IA810M

スイッチ設定 - ポート

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トランクリング

バーチャルLAN

クラッシュファイア

ハードウェアフィルタ

QoS

ポリシーベースQoS

RSTP

MSTP

IGMP Snooping

LDP検出

受信レポート検出

EPSP

UDLD

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

省電力モード

☐ 省電力モード有効

設定 リセット

ポート一覧

ポート	名称	通信モード	リンク	極性	ミラー	トランク	VlanID
<input type="checkbox"/> 1	-	100MFull	Up	Auto(MDI)	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 2	-	100MFull	Up	Auto(MDI-X)	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 3	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 4	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 5	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 6	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 7	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 8	-	-	Down	Auto	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 9	-	-	Down	Not applicable	None	-	default(1)
<input type="checkbox"/> 10	-	-	Down	Not applicable	None	-	default(1)

変更 全ポート変更 ステータス表示 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

省電力モード

省電力モードは、リンクしていないスイッチポートへの電力供給を制限し、消費電力を抑える機能です。本機能の設定は、スイッチポート別ではなく、装置全体に対して機能します。

省電力モードの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

省電力モードを有効にするときは、「省電力モード有効」にチェックを付けます。

省電力モードを無効にするときは、「省電力モード有効」のチェックを外します。

ポート一覧

スイッチポートの情報が一覧で表示されます。

リストの中から設定を変更したいポートにチェックを付けて、「変更」ボタンをクリックすると、「ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

リストの中からステータスを表示したいポートにチェックを付けて、「ステータス表示」ボタンをクリックすると、「ポートステータス表示」が表示されます。

「再表示」ボタンをクリックすると、ポート一覧の情報が更新されます。

ポート設定

「ポート設定」では、スイッチポートの各種設定を行います。

- 「ポート設定」の「設定」ボタンをクリックすると、対象ポートがいったんリンクダウンします。設定内容に変更がない場合や、ポート名称だけを変更した場合などにもリンクダウンしますのでご注意ください。

ポート設定

ポート 1

ポート名称(Description)

ポート状態(Status) <input type="button" value="Enable"/>	リンク(Link) <input type="button" value="Enable(Up)"/>	フロー制御(FlowControl) <input type="button" value="Enable"/>
通信モード(Speed/Duplex) <input type="button" value="Auto-Negotiate"/>	受信可能フレームタイプ(Acceptable) <input type="button" value="すべて受信(All)"/>	
極性自動切替(AutoMDI) <input type="button" value="Enable"/> <small>(※通信モードによって、自動設定される場合があります。)</small>		
極性(Polarity) <input type="button" value="MDI-X"/>		

- 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定値が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目にはデフォルト値が表示されます。
- 下記の設定項目は、選択したポートによっては、表示されないものもあります。また、「全ポート変更」ボタンを

クリックした場合は、すべての項目が表示されますが、設定の必要なポートでのみ、設定は有効になります。

ポート名称 (Description)

ポート名称を設定します。

ポート状態 (Status)

スイッチポートの有効/無効をリストから選択します。

リンク (Link)

スイッチポートのポート状態を無効にしたときの物理的なリンクの有効/無効をリストから選択します。

フロー制御 (FlowControl)

フローコントロール (Full Duplex 時の IEEE 802.3x PAUSE 受信) の有効/無効をリストから選択します。

通信モード (Speed/Duplex)

ポートの通信速度とデュプレックスモードをリストから選択します。

受信可能フレームタイプ (Acceptable)

受信可能なフレームタイプをリストから選択します。

極性自動認識 (AutoMDI)

指定したスイッチポートで MDI/MDI-X 自動認識を有効 (Enable) にするか、無効 (Disable) にするかを、リストから選択します。(100BASE-FX ポートでは無効)

- ✧ 通信モードで、固定スピード (100 Mbps - Full Duplex、100 Mbps - Half Duplex、10 Mbps - Full Duplex、10 Mbps - Half Duplex) を設定した場合、MDI/MDI-X 自動認識は無効になります (有効には変更できません)。また、固定スピードからオートネゴシエーション (Auto-Negotiate、100 Mbps - Full Auto、100 Mbps - Half Auto、10 Mbps - Full Auto、10 Mbps - Half Auto) に変更した場合は、MDI/MDI-X 自動認識は無効のまま変わりません。

極性 (Polarity)

MDI/MDI-X 自動認識を無効にしたときの MDI/MDI-X の指定を、リストから選択します。(100BASE-FX ポートでは無効)

ポートステータス表示

スイッチポートの詳細な情報が表示されます。

表示される内容については、SHOW SWITCH PORT コマンド (「スイッチング」の 111 ページ) の説明を参照してください。

ポートステータス表示

ポート 8

<p>ポート名称(Description) -</p> <p>ポート状態(Status) Enabled</p> <p>リンク状態(LinkState) Link Down</p> <p>通信モード(ConfiguredSpeed/Duplex) Autonegotiate</p> <p>通信速度(Speed) -</p> <p>リンクアップからの経過時間(UpTime) -</p> <p>物理インターフェイス(PortMediaType) Ethernet CSMA/CD</p> <p>ポートの種類(PortType) 10/100Base-T</p> <p>極性自動切替(AutoMDI) Enable</p> <p>極性(Polarity) MDI-X</p> <p>ブロードキャストパケットのリミット -</p> <p>未学習ユニキャストパケットのリミット -</p> <p>マルチキャストパケットのリミット -</p>	<p>受信可能フレームタイプ(AcceptableFrameTypes) Acceptable All Frames</p> <p>セキュリティモード(SecurityMode) Automatic</p> <p>ミラーリング対象パケットの向き(Mirroring) None</p> <p>ミラーポート(MirrorPort) No</p> <p>有効なフロー制御方式(EnabledFlowControl) -</p> <p>所属トランクグループ(Trunk) -</p> <p>所属タグVLAN名(TaggedVLANs) 2</p> <p>所属ポートベースVLAN名(VlanID) default(1)</p> <p>インGRESSフィルタリング(IngressFiltering) Off</p> <p>ユーザープライオリティー(Priority) 0</p>
--	--

OK

プロテクション

パケットストームプロテクション（ブロードキャスト/マルチキャスト/未学習のユニキャストフレームの受信レートに上限を設定し、パケットストームを防止するための機能）に関する設定を行います。

パケットストームプロテクションの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。
「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

スイッチ設定 - パケットストームプロテクション

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- ブロードカスティング
- ミラーリング
- トラッキング
- バーチャルLAN
- クラッシュファイア
- ハードウェアフィルタ
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP
- IGMP Snooping
- LDF検出
- 受信レポート検出
- EPSSR
- UDLD
- その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

パケットストームプロテクション設定

受信上限カウンタ(Limitation) (※適切な値に自動補正されます。)

0 [0-102400](bps)

設定 リセット

ポート設定

ポート	Broadcastリミット	Unknown Unicastリミット	Multicastリミット
<input type="checkbox"/> 1	off	off	off
<input type="checkbox"/> 2	off	off	off
<input type="checkbox"/> 3	off	off	off
<input type="checkbox"/> 4	off	off	off
<input type="checkbox"/> 5	off	off	off
<input type="checkbox"/> 6	off	off	off
<input type="checkbox"/> 7	off	off	off
<input type="checkbox"/> 8	off	off	off
<input type="checkbox"/> 9	off	off	off
<input type="checkbox"/> 10	off	off	off

変更 全ポート変更

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

パケットストームプロテクション設定

「受信上限カウンタ (Limitation)」に、パケットストームプロテクションで使用するしきい値を設定します。

ポート設定

ポートのパケットストームプロテクションの有効/無効の設定状態が一覧で表示されます。

一覧の中から、設定を変更したいポートにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「パケットストームプロテクション設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

パケットストームプロテクション設定

ブロードキャスト、未学習ユニキャスト、マルチキャストの各パケットに対する、パケットストームプロテクションの有効/無効を設定します。

パケットストームプロテクション設定

ポート 1

☐ ブロードキャストパケットのリミット有効(Broadcast)
☐ 未学習ユニキャストパケットのリミット有効(Unknown Unicast)
☐ マルチキャストパケットのリミット有効(Multicast)

設定
キャンセル
リセット

＼ 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の有効/無効の状態が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目は無効として表示されます。

有効にするフレームにチェックを付けます。

無効にするフレームのチェックを外します。

未学習ユニキャストまたはマルチキャストを有効にする場合は、必ずブロードキャストも一緒に有効にしてください。

有効にできる組み合わせは、次のとおりです。

- ブロードキャストのみ
- ブロードキャストと未学習ユニキャスト
- ブロードキャストとマルチキャスト
- ブロードキャスト、未学習ユニキャストとマルチキャスト

ミラーリング

ポートミラーリング（特定のポートを通過するトラフィックをあらかじめ指定したミラーポートにコピーする機能）に関する設定を行います。

ポートミラーリングの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明していますが、Web GUI でも同じことができます。

ミラーリング有効

ポートミラーリング機能を有効にする場合に、チェックを付けます。

ポートミラーリング機能を無効にする場合に、チェックを外します。

ミラーポート (Mirror)

ミラーポートに設定したいポートにチェックを付けます。ミラーポートは、1ポートのみ設定が可能です。

ミラーポートを解除したいポートのチェックを外します。

ソースポート (Source)

ソースポートに設定したいポートにチェックを付けます。

ソースポートを解除したいポートのチェックを外します。

トラフィックの向き (Direction)

ミラーリングするトラフィックの向きをリストから選択します。

＼ ミラーリング機能を無効にすると、「ミラーリング有効」以外の設定も削除されます。

トランキング

ポートトランキング（複数の物理ポートを束ねてスイッチ間の帯域幅を拡大する機能）に関する設定を行います。


ポートトランキングの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

スイッチ設定 - トランキング

Version 2.3.2 MAG Addr: 00-00-F4-27-75-13



保存 終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トランキング

バーチャルLAN

クランファイア

ハードウェアフィルタ

QoS

ポリシーベースQoS

RSTP

MSTP

IGMP Snooping

LDF検出

受信レポート検出

EPPSR

UDLD

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント


トランク設定

トランクグループ名	通信速度	ポート

追加

変更

削除

 Allied Telesis
 Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

トランクグループの作成

「追加」ボタンをクリックすると、「トランク設定 - 追加」が表示されます。

トランク設定 - 追加

トランクグループ名 (TrunkGroupName)

通信速度 (Speed)

100 Mbps ▼

ポート (Ports)

1 3 5 7 9

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

設定

キャンセル

リセット

次の項目を設定します。

トランクグループ名 (TrunkGroupName)

トランクグループ名を入力します。

通信速度 (Speed)

トランクポートの通信速度をリストから選択します。

ポート (Ports)

トランクグループに追加するポートにチェックを付けます。1 グループには最大 8 ポートまで追加可能です。また、非連続な設定も可能です。

トランクグループから削除するポートのチェックを外します。

✖ 100BASE-FX ポートはトランクポートに設定できません。

トランクグループの設定変更

作成されたトランクグループの一覧から、設定を変更したいトランクグループ名を選択して「変更」ボタンをクリックすると、「トランク設定 - 変更」が表示されます。ここでトランクグループの設定変更を行います。

トランクグループの削除

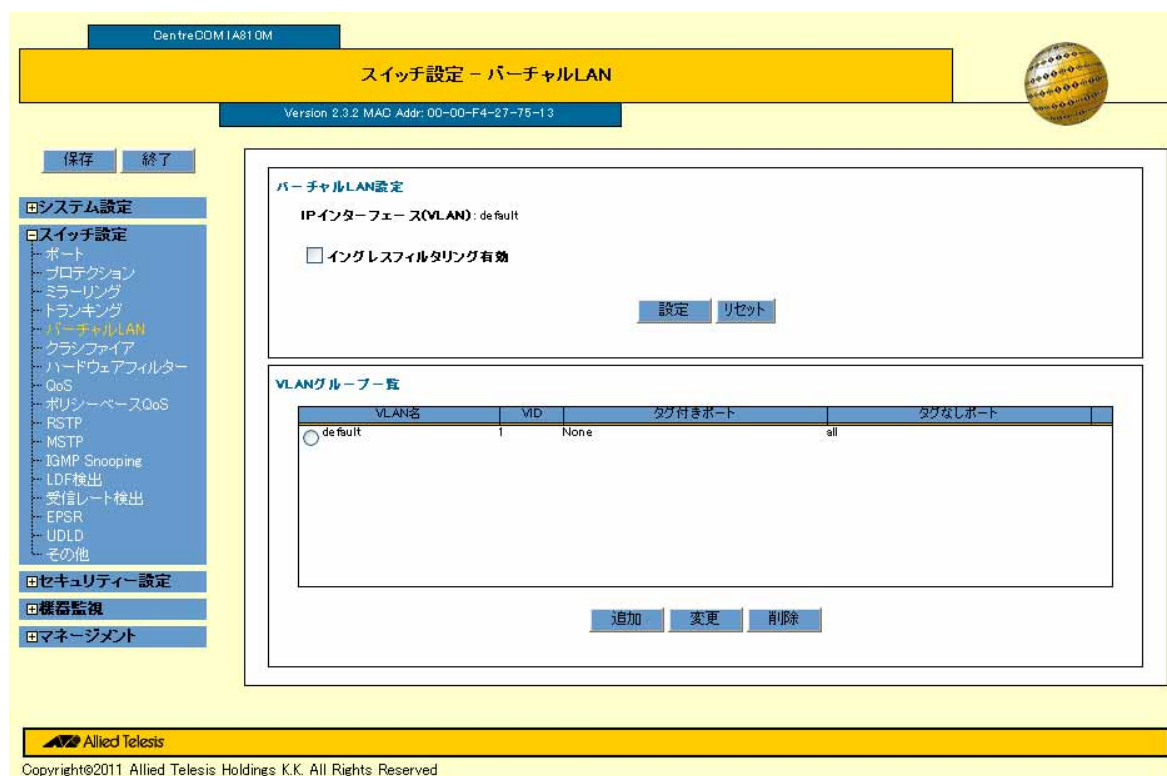
作成されたトランクグループの一覧から、設定を変更したいトランクグループ名にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、トランクグループは削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、トランクグループは削除されません。

バーチャル LAN

バーチャル LAN (VLAN) (スイッチの設定によって論理的にブロードキャストドメインを分割する機能) に関する設定を行います。

バーチャル LAN の詳細については、「バーチャル LAN」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「バーチャル LAN」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。



バーチャル LAN 設定

IP インターフェース (VLAN)

マネージメントポートの所属 VLAN が表示されます。

イングレスフィルタリング有効

イングレスフィルタリングを有効にする場合に、チェックを付けます。

イングレスフィルタリングを無効にする場合に、チェックを外します。

VLAN の作成

「追加」ボタンをクリックすると、「VLAN 設定 - 追加」が表示されます。

VLAN設定 - 追加

VLAN名 (VlanName)

VID
 [2~4094]

☒ 802.1QタグVLAN ☐ マルチプルVLAN(Protected Port版)

ポート(Ports)
Group

1	None	Uplink	
2	None	Uplink	
3	None	Uplink	
4	None	Uplink	
5	None	Uplink	
6	None	Uplink	
7	None	Uplink	
8	None	Uplink	
9	None	Uplink	
10	None	Uplink	

次の項目を設定します。

VLAN 名 (VlanName)

VLAN 名を入力します。

VID

VLAN ID を入力します。

802.1Q タグ VLAN

802.1Q タグ VLAN を作成するときにチェックを付けます。

ポート (Ports)

作成した VLAN に、タグ付きポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「タグ付き」を選択します。

作成した VLAN に、タグなしポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「タグなし」を選択します。

作成した VLAN から削除する場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「None」を選択します。

マルチプル VLAN(Protected Port 版)

マルチプル VLAN(Protected Port VLAN) を作成する場合に、チェックを付けます。

ポート (Ports)

作成した VLAN に、タグ付きポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「タグ付き」を選択します。

作成した VLAN に、タグなしポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「タグなし」を選択します。

作成した VLAN に、アップリンクポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「UPLINK」を選択します。

作成した VLAN に、クライアントポートとして追加したい場合は、対象となるポート番号の横の「Group」に、任意のグループ番号を入力します。

作成した VLAN から削除する場合は、対象となるポート番号の横のリストで、「None」を選択します。

VLAN の設定変更

作成された VLAN の一覧から、設定を変更したい VLAN 名にチェックを付けて「変更」ボタンをクリックすると、「VLAN 設定 - 変更」が表示されます。ここで VLAN の設定変更を行います。

VLAN設定 - 変更

VLAN名 (VlanName)
default

VID
1

☒ 802.1QタグVLAN ☐ マルチプルVLAN(Protected Port版)

ポート(Ports)	Group
1 タグなし	Uplink
2 タグなし	Uplink
3 タグなし	Uplink
4 タグなし	Uplink
5 タグなし	Uplink
6 タグなし	Uplink
7 タグなし	Uplink
8 タグなし	Uplink
9 タグなし	Uplink
10 タグなし	Uplink

OK
キャンセル
リセット

VLAN の削除

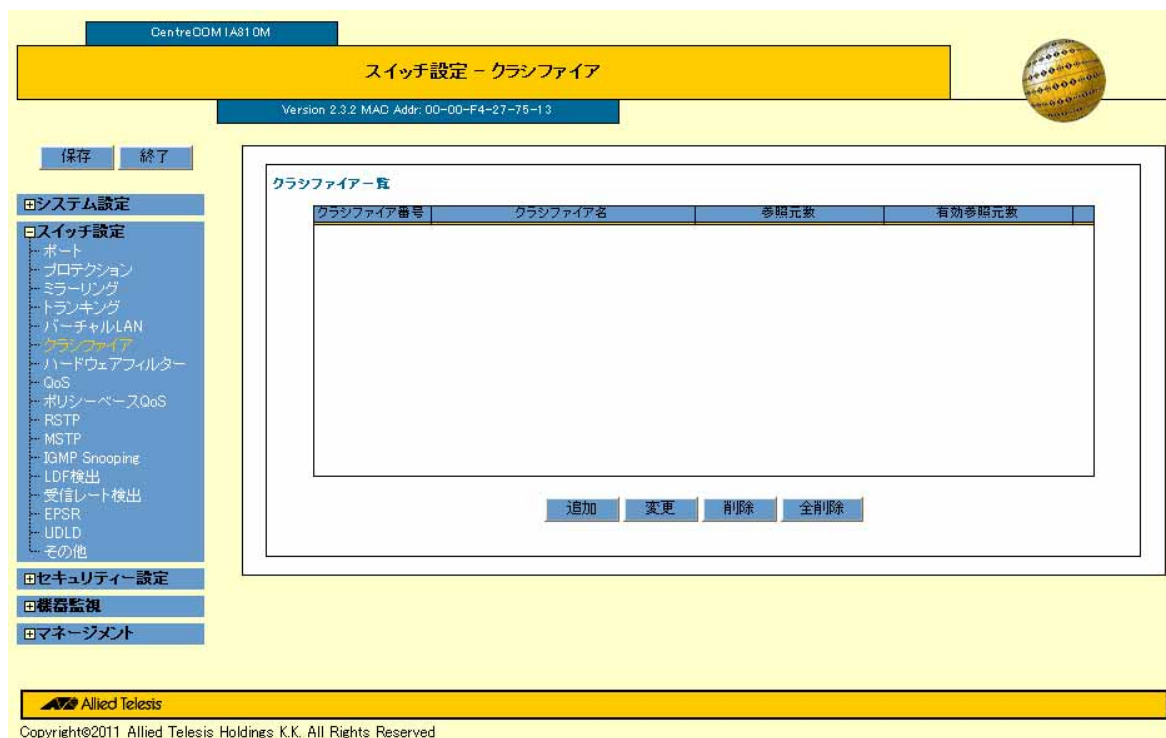
作成された VLAN の一覧から、削除したい VLAN 名にチェックを付けて「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、VLAN は削除されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると、VLAN は削除されません。

クラシファイア

ヘッダー情報に基づいてパケットを分類するクラシファイア機能に関する設定を行います。

クラシファイアの詳細については、「クラシファイア」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「クラシファイア」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。



クラシファイア一覧

クラシファイアの追加、変更、削除、全削除を行えます。

「追加」ボタンをクリックすると「クラシファイア 追加」が表示されます。

クラシファイア 追加/変更

クラシファイア - 追加	
<p>クラシファイア番号(Classifier) <input type="text"/> [1-9999]</p> <p>宛先MACアドレス(MACDAddr) <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/></p> <p>送信元MACアドレス(MACSAddr) <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/></p> <p>フレームフォーマット(EthFormat) <input type="text" value="ANY"/> ▼</p> <p>プロトコルフィールド値(Protocol) <input type="text" value="その他"/> ▼ <input type="text"/> [0x0000-0xffff]</p> <p>IP TOS優先度フィールド値(PTOS) <input type="text"/> [0-7]</p> <p>IPプロトコルフィールド値(IPProtocol) <input type="text" value="その他"/> ▼ <input type="text"/> [0x00-0xff]</p> <p>始点IPアドレス(IPSAddr) <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/></p> <p>終点IPアドレス(IPDAddr) <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/></p> <p>TCP始点ポート(TCPSPort) <input type="text"/> [0-65535]</p> <p>TCP終点ポート(TCPDPort) <input type="text"/> [0-65535]</p> <p>TCP制御フラグフィールド値(TCPFlags) <input type="text" value="ANY"/> ▼</p>	<p>クラシファイア名(Description) <input type="text"/></p> <p>宛先MACアドレスマスク(MACDMask) <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> [00-ff]</p> <p>送信元MACアドレスマスク(MACSMask) <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> [00-ff]</p> <p>ユーザープライオリティ(Priority) <input type="text"/> [0-7]</p> <p>バーチャルLAN(VLAN) <input type="text"/> [VLAN名 or 1-4094]</p> <p>IP DSCPフィールド値(IPDSCP) <input type="text"/> [0-63]</p> <p>始点IPアドレスマスク <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> [0-255]</p> <p>終点IPアドレスマスク <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> [0-255]</p> <p>UDP始点ポート(UDPSPort) <input type="text"/> [0-65535]</p> <p>UDP終点ポート(UDPDPort) <input type="text"/> [0-65535]</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> 設定 キャンセル リセット </div>	

クラシファイア番号 (Classifier)

クラシファイア番号を指定します。任意の番号を指定してください。

クラシファイア名 (Description)

クラシファイアの説明を指定します。(1～31文字。空欄可)

宛先 MAC アドレス (MACDAddr)

対象パケットの宛先 MAC アドレスを指定します。

宛先 MAC アドレスマスク (MACDMask)

対象パケットの宛先 MAC アドレスへのマスクを指定します。

送信元 MAC アドレス (MACSAddr)

対象パケットの送信元 MAC アドレスを指定します。

送信元 MAC アドレスマスク (MACSMask)

対象パケットの送信元 MAC アドレスへのマスクを指定します。

フレームフォーマット (EthFormat)

対象パケットのフレームフォーマットを、ANY、ETHII-UNTAGGED、ETHII-TAGGED、ETHII-TAGGED、802.2-UNTAGGED、802.2-TAGGED の中から選択します。

ユーザープライオリティ (Priority)

対象パケットの 802.1p ユーザープライオリティ値を指定します。(0~7。空欄、ANY 入力可)

プロトコルフィールド値 (Protocol)

プロトコル名を IP、ARP、RARP から選択、またはプロトコル番号を指定します。

プロトコル番号を指定する場合は、その他を選択しプロトコル番号を指定します。(空欄、ANY 入力可)

バーチャル LAN(VLAN)

VLAN 名または VID を指定します。(空欄、ANY 入力可)

IP TOS 優先度フィールド (IPTOS)

対象パケットの IP TOS 優先度 (TOS オクテットの precedence) フィールド値を指定します。(0~7。空欄、ANY 入力可)

IP DSCP フィールド値 (IPDSCP)

対象パケットの IP DSCP (DiffServ Code Point) フィールド値を指定します。(0~63。空欄、ANY 入力可)

IP プロトコルフィールド値 (IpProtocol)

IP プロトコル名を TCP、UDP、ICMP、IGMP から選択、または IP プロトコル番号を指定します。

IP プロトコル番号を指定する場合は、その他を選択し IP プロトコル番号を指定します。(空欄、ANY 入力可)

始点 IP アドレス (IPSAAddr)

対象パケットの始点 IP アドレスを指定します。(空欄可)

始点 IP アドレスマスク

対象パケットの始点 IP アドレスへのマスクを指定します。(空欄可)

終点 IP アドレス (IPDAddr)

対象パケットの終点 IP アドレスを指定します。(空欄可)

終点 IP アドレスマスク

対象パケットの終点 IP アドレスへのマスクを指定します。(空欄可)

TCP 始点ポート (TCPSPort)

対象パケットの TCP 始点ポートを指定します。(0~65535。複数指定は不可。空欄、ANY 入力可)

UDP 始点ポート (UDPSPort)

対象パケットの UDP 始点ポートを指定します。(0~65535。複数指定は不可。空欄、ANY 入力可)

TCP 終点ポート (TCPDPort)

対象パケットの TCP 終点ポートを指定します。(0~65535。複数指定は不可。空欄、ANY 入力可)

UDP 終点ポート (UDPDPort)

対象パケットの UDP 終点ポートを指定します。(0～65535。複数指定は不可。空欄、ANY 入力可)

TCP 制御フラグフィールド値 (TCPFlags)

対象パケットの TCP 制御フラグのフィールド値を、ANY、URG、ACK、PSH、RST、SYN、FIN から指定します。

ハードウェアフィルター

ハードウェア (ASIC) レベルで入力パケットをフィルタリング (許可・拒否) する機能に関する設定を行います。

ハードウェアフィルターの詳細については、「ハードウェアパケットフィルター」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「ハードウェアパケットフィルター」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

エントリー一覧

ハードウェアフィルターの追加、変更、削除、全削除を行えます。

「追加」ボタンをクリックすると「ハードウェアフィルター - 追加」が表示されます。

ハードウェアフィルター 追加/変更

ハードウェアフィルタ – 追加

エントリー番号(ACL)
 [0-255]

アクション(Action)
 ▼

ポート(Port)

1 ☐

3 ☐

5 ☐

7 ☐

9 ☐

2 ☐

4 ☐

6 ☐

8 ☐

10 ☐

エントリー名(Description)

クラシファイア(ClassifierList)
 [1-9999]

エントリー番号 (ACL)

作成するエントリーの ID を指定します。(0 ~ 255)

エントリー名 (Description)

作成するエントリーの説明を指定します。(1 ~ 31 文字。空欄可)

アクション (Action)

パケットがクラシファイアに一致したときのアクションを Permit または Deny から選択します。

クラシファイア (ClassifierList)

ACL に対応づけるクラシファイアの ID を指定します。(1 ~ 9999。ハイフン、カンマでの複数指定可。最大文字数は 128 文字。空欄可)

ポート (Port)

ACL を割り当てるポートを指定します。(複数指定可)

QoS

パケットごとに送信時の優先度を変化させる QoS (Quality of Service) 機能に関する設定を行います。

QoS の詳細については、「QoS」 / 「QoS」をご覧ください。

「QoS」 / 「QoS」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- QoS の設定の消去

CentreCOM IA810M
スイッチ設定 - QoS

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トラッキング

バーチャルLAN

クランファイア

ハードウェアフィルタ

QoS

ポリシーベースQoS

RSTP

MSTP

IGMP Snooping

LDF検出

受信レート検出

EPPR

UDLD

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

QoS基本設定 (※ QoS有効を変更した場合、保存後、再起動する必要があります。)

☐ **QoS有効** (起動時: 無効)

スケジューリング (Scheduling)
☒ Weighted Round-Robin (WRR)
☐ Strict Priority (STRICT)

モード (Mode)

Auto

送信キューの重み付け (HWQueue)
0:

1

 1:

4

 2:

10

 3:

15

ユーザープライオリティーへの送信キュー割り当て (HWPriority)
0:

1

 1:

0

 2:

0

 3:

1

 4:

2

 5:

2

 6:

3

 7:

3

設定 リセット

DSCP設定

ポートプライオリティー

ポート	ユーザープライオリティー
1	0
2	0
3	0
4	0
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0

変更

全ポート変更

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

QoS 基本設定

QoS 有効

QoS を有効にする場合にチェックを付けます。

QoS を無効にする場合、チェックを外します。

※ 設定変更後は、設定を保存し、システムを再起動してください。設定はシステムの再起動後に有効になります。

モード (Mode)

QoS スケジューリングのモードを Auto または 802.1p から選択します。

スケジューリング (Scheduling)

使用したい QoS スケジューリング方式にチェックを付けます。

送信キューの重み付け (HWQueue)

送信キューに重み付けを行います。

ユーザープライオリティーへの送信キュー割り当て (HWPriority)

QoS (Quality of Service) 機能の設定 (プライオリティータグフレームのユーザープライオリティー値と、

Web GUI

CentreCOM IA810M コマンドリファレンス 2.3.2
613-001583 Rev.A

51

本製品の送信キューのマッピング)を変更します。

DSCP 設定

「DSCP 設定」ボタンをクリックすると、「QoS - DSCP 設定」が表示されます。

CentreCOM IA810M

スイッチ設定 - QoS

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トラッキング
- バーチャルLAN
- クランファイア
- ハードウェアフィルタ
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP
- IGMP Snooping
- LDF検出
- 受信レポート検出
- EPSP
- UDLD
- その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

QoS - DSCP 設定

DSCP	Priority	DSCP	Priority	DSCP	Priority	DSCP	Priority
<input type="checkbox"/> 0	0	<input type="checkbox"/> 1	0	<input type="checkbox"/> 2	0	<input type="checkbox"/> 3	0
<input type="checkbox"/> 4	0	<input type="checkbox"/> 5	0	<input type="checkbox"/> 6	0	<input type="checkbox"/> 7	0
<input type="checkbox"/> 8	0	<input type="checkbox"/> 9	0	<input type="checkbox"/> 10	0	<input type="checkbox"/> 11	0
<input type="checkbox"/> 12	0	<input type="checkbox"/> 13	0	<input type="checkbox"/> 14	0	<input type="checkbox"/> 15	0
<input type="checkbox"/> 16	0	<input type="checkbox"/> 17	0	<input type="checkbox"/> 18	0	<input type="checkbox"/> 19	0
<input type="checkbox"/> 20	0	<input type="checkbox"/> 21	0	<input type="checkbox"/> 22	0	<input type="checkbox"/> 23	0
<input type="checkbox"/> 24	0	<input type="checkbox"/> 25	0	<input type="checkbox"/> 26	0	<input type="checkbox"/> 27	0
<input type="checkbox"/> 28	0	<input type="checkbox"/> 29	0	<input type="checkbox"/> 30	0	<input type="checkbox"/> 31	0
<input type="checkbox"/> 32	0	<input type="checkbox"/> 33	0	<input type="checkbox"/> 34	0	<input type="checkbox"/> 35	0
<input type="checkbox"/> 36	0	<input type="checkbox"/> 37	0	<input type="checkbox"/> 38	0	<input type="checkbox"/> 39	0
<input type="checkbox"/> 40	0	<input type="checkbox"/> 41	0	<input type="checkbox"/> 42	0	<input type="checkbox"/> 43	0
<input type="checkbox"/> 44	0	<input type="checkbox"/> 45	0	<input type="checkbox"/> 46	0	<input type="checkbox"/> 47	0
<input type="checkbox"/> 48	0	<input type="checkbox"/> 49	0	<input type="checkbox"/> 50	0	<input type="checkbox"/> 51	0
<input type="checkbox"/> 52	0	<input type="checkbox"/> 53	0	<input type="checkbox"/> 54	0	<input type="checkbox"/> 55	0
<input type="checkbox"/> 56	0	<input type="checkbox"/> 57	0	<input type="checkbox"/> 58	0	<input type="checkbox"/> 59	0
<input type="checkbox"/> 60	0	<input type="checkbox"/> 61	0	<input type="checkbox"/> 62	0	<input type="checkbox"/> 63	0

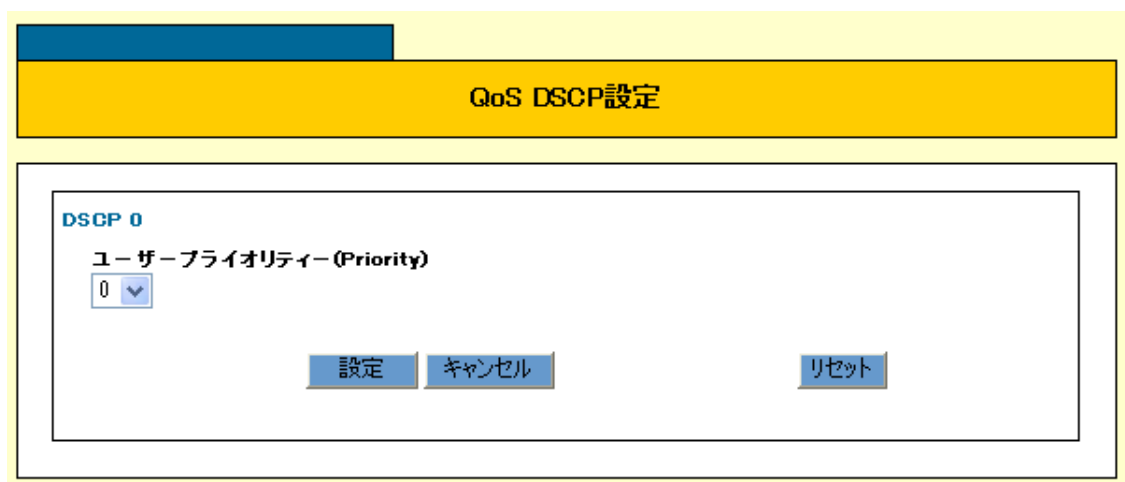
戻る 変更 全DSCP変更

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更する DSCP 値にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「QoS DSCP 設定」が表示されます。

「全 DSCP 変更」ボタンをクリックすると、すべての DSCP の設定を変更することができます。



- 1つのDSCP値を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のDSCP値を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

DSCP テーブルの設定の変更を行います。

ユーザープライオリティー (Priority)

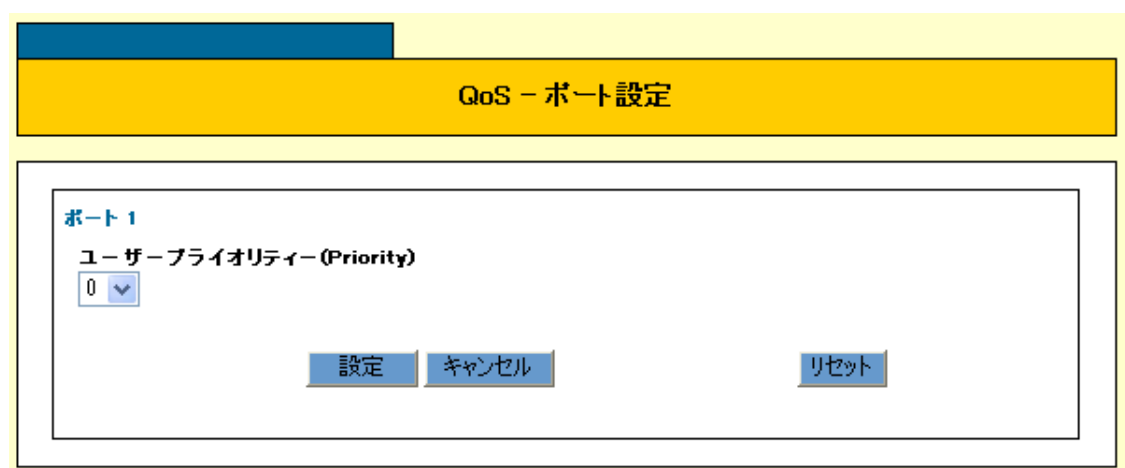
設定するユーザープライオリティー値をリストから選択します。

ポートプライオリティー

スイッチポートのユーザープライオリティー値を指定します。

ポートプライオリティーのポート一覧で、変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「QoS - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。



- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

ユーザープライオリティー (Priority)

スイッチポートのユーザープライオリティー値を指定します。

ポリシーベース QoS

ユーザーが定義したポリシーに基づき、各種トラフィックに任意のサービスレベルを割り当てるポリシーベース QoS (Quality of Service) 機能に関する設定を行います。

ポリシーベース QoS の詳細については、「QoS」/「ポリシーベース QoS」をご覧ください。

「QoS」/「ポリシーベース QoS」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M
スイッチ設定 - ポリシーベース QoS

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存
終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トランッキング

バーチャルLAN

クラシファイア

ハードウェアフィルタ

QoS

ポリシーベース QoS

RSTP

MSTP

IGMP Snooping

LDP検出

受信レポート検出

EPSR

UDLD

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

QoSポリシー一覧

QoSポリシー番号	QoSポリシー名	アクティブ	トラフィッククラス番号	入力ポート番号

追加
変更
削除
全削除

トラフィッククラス一覧

トラフィッククラス番号	トラフィッククラス名	アクティブ	QoSポリシー番号	フローグループ番号

追加
変更
削除
全削除

フローグループ一覧

フローグループ番号	フローグループ名	アクティブ	トラフィッククラス番号	クラシファイア番号

追加
変更
削除
全削除

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

QoS ポリシー一覧

QoS ポリシーの追加、変更、削除、全削除を行えます。

「追加」ボタンをクリックすると「QoS ポリシー - 追加」が表示されます。

QoS ポリシー 追加/変更

QoSポリシー - 追加

<p>QoS ポリシー番号(Policy) <input type="text"/> [0-255]</p> <p>IP DSCPフィールド 上書き(RemarkInDscp) <input type="button" value="NONE"/></p> <p>IP ToSフィールド 値(TOS) <input type="text"/> [0-7]</p> <p>プライオリティをToSに反映 (MovePrioritytoToS) <input type="button" value="NO"/></p> <p>トラフィッククラス(TrafficClassList) <input type="text"/></p> <p>出力ポート(EgressPort) <input type="text"/></p>	<p>QoS ポリシー名(Description) <input type="text"/></p> <p>IP DSCPフィールド 値(InDscpOverWrite) <input type="text"/> [0-63]</p> <p>ToSをプライオリティに反映 (MoveToS to Priority) <input type="button" value="NO"/></p> <p>ミラーリング(SendToMirror) <input type="button" value="NO"/></p> <p>入力ポート(IngressPort) <input type="text"/></p> <p>出力先ポート(RedirectPort) <input type="text"/></p>
---	---

QoS ポリシー番号 (Policy)

作成する QoS ポリシーの番号を指定します。(0～255)

QoS ポリシー名 (Description)

作成する QoS ポリシーの説明を指定します。(1～31 文字。空欄可。空白を含んでよい)

IP DSCP フィールド上書き (RemarkInDscp)

IP ヘッダーの DSCP (DiffServ Code Point) フィールドの値を書き換えるかどうかを ALL (すべて書き換える) または NONE (書き換えない) から選択します。

IP DSCP フィールド値 (InDscpOverWrite)

IP ヘッダーの DSCP (DiffServ Code Point) フィールドに書き込む値を指定します。(0～63、NONE 入力可)

IP ToS フィールド値 (TOS)

IP ヘッダーの TOS フィールドの値を指定します。(0～7、NONE 入力可)

ToS をプライオリティーに反映 (MoveToStoPriority)

IP ヘッダーの TOS フィールドの値をプライオリティーに反映させるかどうかを Yes または No から選択します。

プライオリティーを ToS に反映 (MovePrioritytoToS)

プライオリティー値を TOS フィールドの値に反映させるかどうかを Yes または No から選択します。

ミラーリング (SendToMirror)

クラシファイアの条件に当てはまるパケットをミラーリングするかどうかを Yes または No から選択します。

トラフィッククラス (TrafficClassList)

QoS ポリシーに対応づけるトラフィッククラス番号を指定します。(0~511。ハイフン、カンマでの複数指定可)

入力ポート (IngressPort)

QoS ポリシーを割り当てる入力ポートを指定します。(ハイフン、カンマでの複数指定可)

出力ポート (EgressPort)

QoS ポリシーを割り当てる出力ポートを指定します。

出力先ポート (RedirectPort)

トラフィックの出力先ポートを指定します。

トラフィッククラス一覧

トラフィッククラスの追加、変更、削除、全削除を行えます。

「追加」ボタンをクリックすると「トラフィッククラス一覧 - 追加」が表示されます。

トラフィッククラス一覧 追加/変更

トラフィッククラス - 追加	
<p>トラフィッククラス番号 (TrafficClass) <input type="text" value=""/> [0-511]</p> <p>最大帯域超過アクション (ExceedAction) <input type="button" value="DROP"/> ▼</p> <p>IP DSCPフィールド値 (MarkValue) <input type="text" value=""/> [0-63]</p> <p>バーストサイズ (BurstSize) <input type="text" value=""/> [4-512]</p> <p>プライオリティ上書き (RemarkPriority) <input type="button" value="NO"/> ▼</p> <p>IP ToSフィールド値 (TOS) <input type="text" value=""/> [0-7]</p> <p>プライオリティをToSに反映 (MovePrioritytoToS) <input type="button" value="NO"/> ▼</p>	<p>トラフィッククラス名 (Description) <input style="width: 100%;" type="text"/></p> <p>上書きDSCP値 (ExceedRemarkValue) <input type="text" value="0"/> [0-63]</p> <p>最大帯域幅 (MaxBandWidth) <input type="text" value=""/> [0-100]</p> <p>プライオリティ (Priority) <input type="text" value=""/> [0-7]</p> <p>ToSをプライオリティに反映 (MoveToS to Priority) <input type="button" value="NO"/> ▼</p> <p>フローグループ (FlowGroupList) <input style="width: 100%;" type="text"/> [0-1023]</p>
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="リセット"/>	

トラフィッククラス番号 (TrafficClass)
 作成するトラフィッククラスの番号を指定します。(0~511)

トラフィッククラス名 (Description)
 作成するトラフィッククラスの説明を指定します。(1~31文字。空欄可。空白を含んでよい)

最大帯域超過アクション (ExceedAction)
 トラフィッククラスに割り当てられた最大帯域を超えた場合の処理を DROP (破棄) または REMARK (IP ヘッダーの DSCP フィールド値を「上書き DSCP 値」で指定した値に書き換えて転送) から選択します。

上書き DSCP 値 (ExceedRemarkValue)
 「最大帯域超過アクション」で REMARK を選択した場合に、IP ヘッダーの DSCP (DiffServ Code Point) フィールドに書き込む値を指定します。(0~63)
 「最大帯域超過アクション」で REMARK を選択した場合のみ、指定可能となります。

IP DSCP フィールド値 (MarkValue)
 IP ヘッダーの DSCP (DiffServ Code Point) フィールドに書き込む値を指定します。(0~63、NONE 入力可)

最大帯域幅 (MaxBandWidth)
 トラフィッククラスに割り当てる最大帯域幅 (Mbps) を指定します。(0~100)

バーストサイズ (BurstSize)

トラフィッククラスのバッファのサイズ (Kbps) を指定します。(4~512)

※ 「バーストサイズ」を指定する場合は、「最大帯域幅」も設定しなければ機能しません。

プライオリティー (Priority)

トラフィッククラスで設定するプライオリティーの値を指定します。(0~7)

プライオリティー上書き (RemarkPriority)

受信パケットのユーザープライオリティー値を、「プライオリティー」で設定した値で上書きするかどうかを Yes または No から選択します。

IP ToS フィールド値 (TOS)

IP ヘッダーの TOS フィールドの値の値を指定します。(0~7、NONE 入力可)

ToS をプライオリティーに反映 (MoveToStoPriority)

IP ヘッダーの TOS フィールドの値をプライオリティーに反映させるかどうかを Yes または No から選択します。

プライオリティーを ToS に反映 (MovePrioritytoToS)

プライオリティー値を TOS フィールドの値に反映させるかどうかを Yes または No から選択します。

フローグループ番号

トラフィッククラスに対応づけるフローグループ番号を指定します。(0~1023。ハイフン、カンマでの複数指定可)

フローグループ一覧

フローグループの追加、変更、削除、全削除を行えます。

「追加」ボタンをクリックすると「フローグループ一覧 - 追加」が表示されます。

フローグループ一覧 追加/変更

フローグループ - 追加

<p>フローグループ番号 (FlowGroup) <input type="text"/> [0-1023]</p> <p>IP DSCP フィールド値 (MarkValue) <input type="text"/> [0-63]</p> <p>プライオリティー 上書き (RemarkPriority) <input type="button" value="NO"/> ▼</p> <p>IP ToS フィールド値 (TOS) <input type="text"/> [0-7]</p> <p>プライオリティーを ToS に反映 (MovePrioritytoToS) <input type="button" value="NO"/> ▼</p>	<p>フローグループ名 (Description) <input style="width: 100%;" type="text"/></p> <p>プライオリティー (Priority) <input type="text"/> [0-7]</p> <p>ToS をプライオリティーに反映 (MoveToStoPriority) <input type="button" value="NO"/> ▼</p> <p>クラシファイア (ClassifierList) <input style="width: 100%;" type="text"/> [1-9999]</p>
--	--

フローグループ番号 (FlowGroup)
作成するフローグループの番号を指定します。(0~1023)

フローグループ名 (Description)
作成するフローグループの説明を指定します。(1~31 文字。空欄可。空白を含んでよい)

IP DSCP フィールド値 (MarkValue)
IP ヘッダーの DSCP (DiffServ Code Point) フィールドに書き込む値を指定します。(0~63、NONE 入力可)

プライオリティー (Priority)
フローグループで設定するプライオリティーの値を指定します。(0~7)

プライオリティー上書き (RemarkPriority)
受信パケットのユーザープライオリティー値を、「プライオリティー」で設定した値で上書きするかどうかを Yes または No から選択します。

IP ToS フィールド値 (TOS)
IP ヘッダーの TOS フィールドの値を指定します。(0~7、NONE 入力可)

ToS をプライオリティーに反映 (MoveToStoPriority)
IP ヘッダーの TOS フィールドの値をプライオリティーに反映させるかどうかを Yes または No から選択します。

プライオリティーを ToS に反映 (MovePrioritytoToS)
プライオリティー値を TOS フィールドの値に反映させるかどうかを Yes または No から選択します。

クラシファイア (ClassifierList)

フローグループに対応づけるクラシファイア番号を指定します。(0～9999。ハイフン、カンマでの複数指定可)

RSTP

ラピッドスパニングツリープロトコルの設定を行います。

スパニングツリーの詳細については、「スパニングツリープロトコル」/「概要・基本設定」をご覧ください。「スパニングツリープロトコル」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- ラピッドスパニングツリープロトコル (Rapid STP) の設定の消去

CentreCOM IA810M

スイッチ設定 - RSTP

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トランッキング

バーチャルLAN

クラシファイア

ハードウェアフィルタ

QoS

ポリシーベースQoS

RSTP

MSTP

IGMP Snooping

LDP検出

受信レポート検出

EPFR

UDLD

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

ステータス

RSTP Type : Normal

Bridge Identifier: 32768 : 00-00-F4-27-75-13

Root Bridge : 0 : 00-00-00-00-00-00

Root Port : (n/a)

Root Path Cost: 0

Max Age : 0

Hello Time : 0

Forward Delay : 0

Hold Time : 1

基本設定

スパニングツリー有効

1 3 5 7 9

2 4 6 8 10

すべて選択 すべて解除

RSTPの動作モード(RstpType)

☒ RSTP BPDUを使う(Normal)

☐ 標準BPDUを使う(STP Compatible)

ハロータイム(HelloTime)

2 [1-10](秒)

ブリッジプライオリティ(Priority)

32768 [0-61440] (※適切な値に自動補正されます。)

最大エージタイム(MaxAge)

20 [6-40](秒)

フォワードデレイタイム(ForwardDelay)

15 [4-30](秒)

設定 リセット ポート設定

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ステータス

Rapid STP の設定情報、動作状況が表示されます。

表示される項目は、SHOW STP コマンド(「スパニングツリープロトコル」の 50 ページ)の説明を参照してください。

基本設定

Rapid STP ドメインのブリッジ設定、スパニングツリーパラメーターを設定します。

スパニングツリー有効

Rapid STP を有効にするポートにチェックを付けます。

Rapid STP を無効にするポートはチェックを外します。

RSTP の動作モード (RstpType)

Rapid STP の動作モードを選択します。

RSTP BPDU を使う (Nomal) : RSTP BPDU を使う場合に選択します。

標準 BPDU を使う (STP Compatible) : RSTP の設定を使用するが、STP BPDU を使う場合に選択します。

ハロータイム (HelloTime)

ハロータイム (ルートブリッジが BPDU (Bridge Protocol Data Unit) を送信する間隔) を設定します。

最大エージタイム (MaxAge)

最大エージタイム (ルートブリッジから BPDU が届かなくなったことを認識するまでの時間) を設定します。

ブリッジプライオリティー (Priority)

ブリッジプライオリティーを 4096 の倍数で設定します。

フォワードディレイタイム (ForwardDelay)

フォワードディレイタイム (ネットワーク構成の変更後に、ルートブリッジ内のポートがディスカードイングからラーニング、ラーニングからフォワーディング状態に遷移するまでの最大時間) を設定します。

ポート設定

指定した Rapid STP ドメインのポートのスパニングツリーパラメーターを変更します。

「ポート設定」ボタンをクリックすると、ポート状態の一覧が表示されます。

CentreCOM IA810M

スイッチ設定 - RSTP

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トラッキング
- バーチャルLAN
- クランファイア
- ハードウェアフィルタ
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP**
- MSTP
- IGMP Snooping
- LDF検出
- 受信レート検出
- EPSS
- UDLD
- その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

ポート設定

ポート	有効	状態	Role	Edge	P2P	バージョン	コスト
<input type="checkbox"/> 1	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 2	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 3	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 4	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 5	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 6	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 7	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 8	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 9	Disabled	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 10	Disabled	-	-	-	-	-	-

戻る 変更 全ポート変更 再表示

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「スパンニングツリー - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

「再表示」ボタンをクリックすると、ポート状態の表示が更新されます。

スパンニングツリー - ポート設定

ポート 1

プライオリティ (Priority)

128 [0-240]
(※適切な値に自動補正されます。)

ポイントツーポイント (Point-to-Point)

Auto Detect ▼

バスコスト (Cost)

0 [0-2000000000]
(0 = Auto Update)

エッジポート (Edge)

No ▼

設定 キャンセル リセット

- ※ 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

プライオリティ (Priority)

ポートプライオリティを設定します。

パスコスト (Cost)

パスコストを設定します。

ポイントツーポイント (Point-to-Point)

該当ポートが他のブリッジとポイントツーポイントで接続されているかどうかをリストから選択します。

エッジポート (Edge)

該当ポートがエッジポートかどうかをリストから選択します。

MSTP

マルチプルスパニングツリープロトコル (MSTP) の設定を行います。

MSTP の詳細については、「スパニングツリープロトコル」 / 「Multiple STP」をご覧ください。

「スパニングツリープロトコル」 / 「Multiple STP」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも、次の項目以外は同じことができます。

- マルチプルスパニングツリープロトコルの設定の消去

CentreCOM IA810M
スイッチ設定 - MSTP

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トランクリング

バーチャルLAN

クランファイア

ハードウェアフィルタ

QoS

ポリシーベースQoS

RSTP

MSTP

IGMP Snooping

LDF検出

受信レポート検出

EPSSR

UDLD

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

ステータス

```

Protocol Version: Normal
Bridge Identifier : 32768 : 00-00-F4-27-75-13
Root Bridge      : 0 : 00-00-00-00-00-00
Root Path Cost   : 0
Max Age          : 0
Max Hops         : 20
Hello Time       : 0
Forward Delay    : 0
          
```

基本設定

マルチブラスパニングツリー有効 (※ マルチブラスパニングツリー有効時に ProtocolVersion を変更した場合、MSTインスタンスの設定は削除されます。)

1 3 5 7 9
☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2 4 6 8 10
☐ ☐ ☐ ☐ ☐

すべて選択
すべて解除

MSTリージョン名 (ConfigName)

リビジョン (RevisionLevel)
 [0-65535]

MSTP動作モード (ProtocolVersion)

ハロータイム (HelloTime)
 [1-10] (秒)

フォワードディレイタイム (ForwardDelay)
 [4-30] (秒)

最大エージタイム (MaxAge)
 [6-40] (秒)

最大ホップ数 (MaxHops)
 [1-40]

設定
リセット

GIST/MSTインスタンス一覧

インスタンスID	プライオリティ	ルートID	パスコスト	VID
0 (GIST)	32768	0/00:00:00:00:00:00	0	1

追加
変更
削除

ポート設定

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ステータス

マルチブラスパニングツリープロトコル (MSTP) の設定情報、動作状況が表示されます。

表示される項目は、SHOW MSTP コマンド (「スパニングツリープロトコル」の 41 ページ) の説明を参照してください。

基本設定

MSTP ドメインのブリッジ設定、パラメーターを設定します。

マルチブラスパニングツリー有効

MSTP を有効にするポートにチェックを付けます。

MSTP を無効にするポートはチェックを外します。

MST リージョン名 (ConfigName)

MST リージョン名を設定します。

ハロータイム (HelloTime)

ハロータイム (ルートブリッジが BPDU (Bridge Protocol Data Unit) を送信する間隔) を設定します。

最大エージタイム (MaxAge)

最大エージタイム (ルートブリッジから BPDU が届かなくなったことを認識するまでの時間) を設定します。

リビジョン (RevisionLevel)

MST リージョン設定のリビジョンを設定します。

フォワードディレイタイム (ForwardDelay)

フォワードディレイタイム (ネットワーク構成の変更後に、ルートブリッジ内のポートがディスカードイン
グからラーニング、ラーニングからフォワーディング状態に遷移するまでの最大時間) を設定します。

最大ホップ数 (MaxHops)

最大ホップ数を設定します。

MSTP 動作モード (ProtocolVersion)

MSTP の動作モードを設定します。

MSTP : MSTP BPDU を使う

STPCOMPATIBLE : MSTP の設定を使用するが、STP BPDU を使う

CIST/MST インスタンス一覧

CIST、MST インスタンスの一覧を表示します。

「追加」をクリックすると「MST インスタンス - 追加」が表示されます。

インスタンス ID 「0 (CIST)」にチェックを入れ、「変更」をクリックすると「CIST - 変更」が表示されます。

「0 (CIST)」以外のインスタンス ID にチェックを入れ、「変更」をクリックすると「MST インスタンス - 変更」が表示されます。

インスタンス ID 「0 (CIST)」にチェックを入れ、「ポート設定」をクリックすると「ポート設定/インスタ
ンス ID 0 (CIST)」が表示されます。

「0 (CIST)」以外のインスタンス ID にチェックを入れ、「ポート設定」をクリックすると「ポート設定/イ
ンスタンス ID xx」が表示されます。

MST インスタンス追加

MSTインスタンス - 追加

MSTインスタンス設定

MSTインスタンスID (MSTI)

[1-15]

プライオリティ (Priority)

[0-65535] (※適切な値に自動補正されます。)

設定

リセット

所属VLAN一覧

VLAN名	VID

削除

全削除

VLAN設定

VLAN [VLAN名 or 1-4094 or ALL]

追加

リセット

OK

MST インスタンス (MSTI)

MST インスタンス ID を設定します。

プライオリティー (Priority)

該当 MST インスタンスにおけるブリッジプライオリティーを設定します。

所属 VLAN 一覧

MST インスタンスに割り当てられている VLAN の一覧を表示します。

VLAN 設定

MST インスタンスに割り当てる VLAN を追加します。

CIST 变更

CIST - 変更

設定

プライオリティー (Priority)

[0-65535] (※適切な値に自動補正されます。)

設定
リセット

所属VLAN一覧

VLAN名	VID
<input checked="" type="radio"/> de fault	1

OK

プライオリティー (Priority)

該当 MST インスタンスにおけるブリッジプライオリティーを設定します。

所属 VLAN 一覧

MST インスタンスに割り当てられている VLAN の一覧を表示します。

MST インスタンス変更

MST インスタンス – 変更

MST インスタンス設定

MST インスタンスID (MSTI)

[1-15]

プライオリティー (Priority)

[0-65535] (※適切な値に自動補正されます。)

設定

リセット

所属 VLAN – 覧

VLAN名	VID

削除

全削除

VLAN 設定

VLAN [VLAN名 or 1-4094 or ALL]

追加

リセット

OK

MST インスタンス (MSTI)
MST インスタンス ID を設定します。

プライオリティー (Priority)
該当 MST インスタンスにおけるブリッジプライオリティーを設定します。

所属 VLAN 一覧
MST インスタンスに割り当てられている VLAN の一覧を表示します。

VLAN 設定
MST インスタンスに割り当てる VLAN を変更します。

ポート設定/インスタンス ID 0 (CIST)

指定した MSTP ドメインのポートのスパニングツリーパラメーターを変更します。

CentreCOM IA810M

スイッチ設定 - MSTP

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

ポート
 プロテクション
 ミラーリング
 トランッキング
 バーチャルLAN
 グラシファイア
 ハードウェアフィルタ
 QoS
 ポリシーベースQoS
 RSTP
MSTP
 IGMP Snooping
 LDF検出
 受信ポート検出
 EPSR
 UDLD
 その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

ポート設定 / インスタンスID 0 (CIST)

ポート	有効	状態	Role	Edge	P2P	バージョン	External Cost	Internal Cost
<input type="checkbox"/> 1	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 2	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 3	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 4	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 5	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 6	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 7	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 8	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 9	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 10	Disabled	-	-	-	-	-	-	-

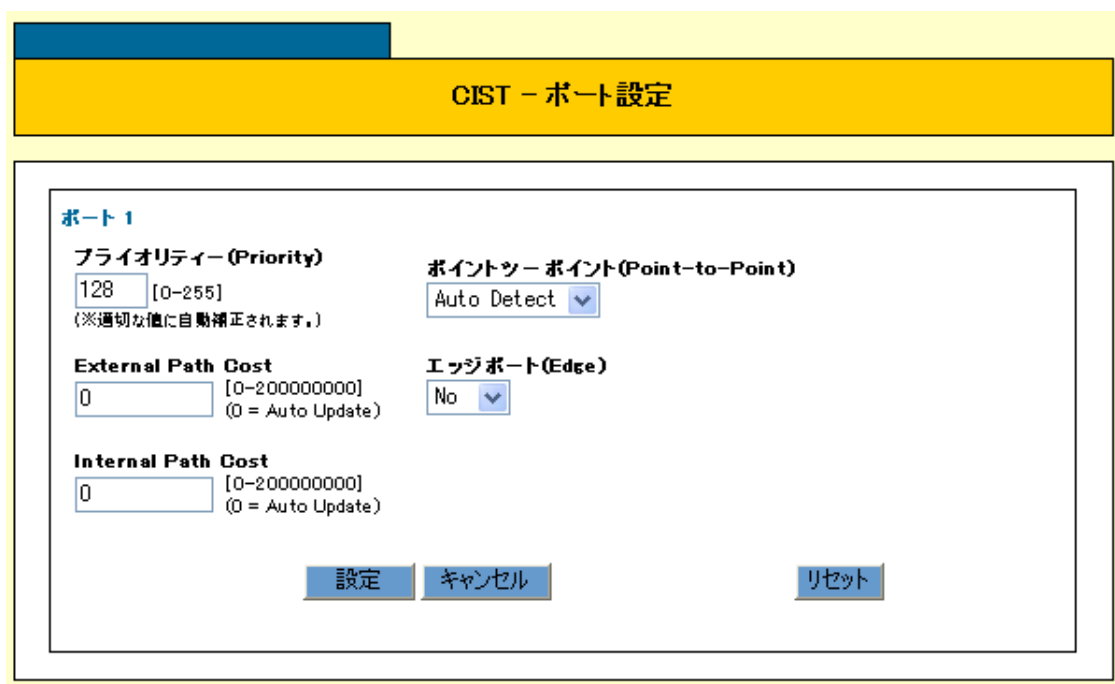
戻る
変更
全ポート変更
再表示

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「CIST - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

「再表示」ボタンをクリックすると、ポート状態の表示が更新されます。



CIST - ポート設定

ポート 1

プライオリティ (Priority)
 [0-255]
(※適切な値に自動補正されます。)

ポイントツーポイント (Point-to-Point)

External Path Cost
 [0-2000000000]
(0 = Auto Update)

エッジポート (Edge)

Internal Path Cost
 [0-2000000000]
(0 = Auto Update)

- ＼ 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

プライオリティ (Priority)

ポートプライオリティを設定します。

External Path Cost

CIST ルートブリッジが所属するリージョンまでのパスに対するポート通過コストを設定します。

Internal Path Cost (Cost)

CIST リージョナルルート (MST リージョン内における CIST ツリーのルートブリッジ) までのパスに対するポート通過コストを設定します。

ポイントツーポイント (Point-to-Point)

該当ポートが他のブリッジとポイントツーポイントで接続されているかどうかをリストから選択します。

エッジポート (Edge)

該当ポートがエッジポートかどうかをリストから選択します。

ポート設定/インスタンス ID xx

指定した MSTP ドメインのポートのスパニングツリーパラメーターを変更します。

CentreCOM IA810M
スイッチ設定 - MSTP

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存
終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トラッキング
- バーチャルLAN
- クランファイア
- ハードウェアフィルタ
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP
- IGMP Snooping
- LDP検出
- 受信レポート検出
- EPSP
- UDLD
- その他

セキュリティ設定

- ポートセキュリティ

機器監視

マネージメント

ポート設定 / インスタンスID 1

ポート	有効	状態	Role	Edge	P2P	バージョン	External Cost	Internal Cost
<input type="checkbox"/> 1	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 2	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 3	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 4	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 5	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 6	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 7	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 8	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 9	Disabled	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 10	Disabled	-	-	-	-	-	-	-

戻る
変更
全ポート変更
再表示

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定を変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「MST インスタンス - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

「再表示」ボタンをクリックすると、ポート状態の表示が更新されます。

MST インスタンス - ポート設定

MST インスタンス 1 / ポート 1

プライオリティ (Priority)

[0-255]

(※適切な値に自動補正されます。)

パスコスト (Cost)

[0-2000000000]

(0 = Auto Update)

設定
キャンセル
リセット

- 1つのポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポートを選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

プライオリティ（Priority）

ポートプライオリティを設定します。

パスコスト（Cost）

パスに対するポート通過コストを設定します。

IGMP Snooping

IGMP Snooping（VLAN 環境において不要なマルチキャストトラフィックをフィルタリングする機能）に関する設定を行います。

IGMP Snooping の詳細については、「IGMP Snooping」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「IGMP Snooping」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

スイッチ設定 - IGMP Snooping

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トラッキング
- バーチャルLAN
- クラシファイア
- ハードウェアフィルタ
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP
- IGMP Snooping
- LDP検出
- 受信ポート検出
- EPDR
- UDLD
- その他

セキュリティ設定

- ポートセキュリティ

機器監視

マネージメント

設定

IGMP Snooping 有効

タイムアウト時間(Timeout)

260 [0-86400](秒)

マルチキャストアドレス最大学習数(NumberMulticastGroup)

64 [1-255]

ルーターポート(RouterPort)

Auto

1 3 5 7 9

2 4 6 8 10

すべて選択 すべて削除

設定 リセット

IPマルチキャストアドレス一覧

IPマルチキャストアドレス	ルーターポート

追加 変更 削除

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定

IGMP Snooping 有効

IGMP Snooping を有効にする場合に、チェックを付けます。

IGMP Snooping を無効にする場合に、チェックを外します。

タイムアウト時間 (Timeout)

IGMP Snooping 有効時、グループが作成後 Membership Report を受信しなくなってから、グループを削除するまでの時間を設定します。

マルチキャストアドレス最大学習数 (NumberMulticastGroup)

マルチキャストアドレスの最大登録数を設定します。

ルーターポート (RouterPort)

Auto、None、Select から選択します。

Select を選択した場合、ルーターポートに設定するポートにチェックを入れます。

IP マルチキャストアドレス一覧

現在登録されている IP マルチキャストアドレスを表示します。

IP マルチキャストアドレス-追加

IP マルチキャストアドレスを追加します。

IPマルチキャストアドレス - 追加

IPマルチキャストアドレス(MCGroup)

.

.

.

連続作成(Number)

[1-255]

ルーターポート(RouterPort)

1 3 5 7 9

☒
☐
☐
☐
☐

2 4 6 8 10

☐
☐
☐
☐
☐

追加

リセット

OK

IP マルチキャストアドレス (MCGroup)

IGMP Snooping の対象となる IP マルチキャストアドレスを指定します。

連続作成 (Number)

同時に追加するマルチキャストグループ数を指定します。

ルーターポート (RouterPort)

IGMP Snooping においてルーターポートで受信したマルチキャストパケットの転送先となるメンバーポートにチェックを付けます。

LDF 検出

LDF (Loop Detection Frame) によりループ発生の検出と動作の保全を行う LDF 検出機能に関する設定を行います。

LDF 検出の詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

スイッチ設定 - LDF検出

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

- ポート
- プロテクション
- ミラーリング
- トラッキング
- バーチャルLAN
- クラシファイア
- ハードウェアフィルタ
- QoS
- ポリシーベースQoS
- RSTP
- MSTP
- IGMP Snooping
- LDF検出**
- 受信レポート検出
- EPSR
- UDLD
- その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

LDF検出有効

1 3 5 7 9
☐ ☐ ☐ ☐ ☐
 2 4 6 8 10
☐ ☐ ☐ ☐ ☐

すべて選択 すべて解除

設定 リセット

ポート一覧

ポート	状態	タイマー	ポート有効	リンク	B/D 通信
<input type="checkbox"/> 1	--	--	Enabled	Up	Forward
<input type="checkbox"/> 2	--	--	Enabled	Up	Forward
<input type="checkbox"/> 3	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 4	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 5	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 6	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 7	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 8	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 9	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 10	--	--	Enabled	Down	Forward

変更 全ポート変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

LDF 検出有効

LDF 検出を有効にする場合に、チェックを付けます。

LDF 検出を無効にする場合に、チェックを外します。

ポート設定

スイッチポートの LDF 検出に関する値を設定します。

LDF 検出のポート一覧で、変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「LDF 検出 - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

LDF検出 - ポート設定

ポート 1

LDF検出時のアクション(Action)
 ▼

LDF送信間隔(Interval)
 [1-1 000 000](秒)

セキュアフレーム(Secure)
 ▼

ブロックタイムアウト(BlockTimeout)
 ▼ [1-86 400](秒)

- ◇ 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

LDF 検出時のアクション (Action)

LDF を検出した場合のアクションをリストから選択します。

LDF 送信間隔 (Interval)

LDF の送信間隔を設定します。

セキュアフレーム (Secure)

セキュアな LDF を受信するかどうかをリストから選択します。

ブロックタイムアウト (BlockTimeout)

アクション実行から実行前の状態への自動復旧の有効 (Enable) / 無効 (Disable) をリストから選択します。有効に設定した場合、アクション実行から復旧までの時間を入力します。

受信レート検出

受信レートの検出によりループ発生時の動作の保全を行う受信レート検出機能に関する設定を行います。

受信レート検出の詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしています

が、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

スイッチ設定 - 受信レート検出

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

- スイッチ設定
 - ポート
 - プロテクション
 - ミラーリング
 - トランッキング
 - バーチャルLAN
 - クラシファイア
 - ハードウェアフィルタ
 - QoS
 - ポリシーベースQoS
 - RSTP
 - MSTP
 - IGMP Snooping
 - LDF検出
 - 受信レート検出
 - EPSP
 - UDLD
 - その他
- セキュリティ設定
- 機器監視
- マネージメント

受信レート検出有効

1 3 5 7 9
2 4 6 8 10

すべて選択 すべて解除

設定 リセット

ポート一覧

ポート	高レート	タイマー	低レート	タイマー	ポート有効	リンク	B/C通信
<input type="checkbox"/> 1	--	--	--	--	Enabled	Up	Forward
<input type="checkbox"/> 2	--	--	--	--	Enabled	Up	Forward
<input type="checkbox"/> 3	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 4	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 5	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 6	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 7	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 8	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 9	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward
<input type="checkbox"/> 10	--	--	--	--	Enabled	Down	Forward

変更 全ポート変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

受信レート検出有効

受信レート検出を有効にする場合に、チェックを付けます。

受信レート検出を無効にする場合に、チェックを外します。

ポート設定

スイッチポートの受信レート検出に関する値を設定します。

受信レート検出のポート一覧で、変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「受信レート検出 - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

受信レート検出 - ポート設定

ポート 1

高レート検出時のアクション(HighRate Action)

高レートしきい値(HighRate Threshold)
 [2-1 02400](Kbps)

低レート検出時のアクション(LowRate Action)

低レートしきい値(LowRate Threshold)
 [1-1 02399](Kbps)

ブロックタイムアウト(BlockTimeout)
 [1-86400](秒)

- ✧ 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

高レート検出時のアクション (HighRateAction)

受信レートが高レートのしきい値を超えた場合のアクションをリストから選択します。

高レートしきい値 (HighRateThreshold)

受信レートが高レートのしきい値を設定します。

低レート検出時のアクション (LowRateAction)

受信レートが低レートのしきい値を超えた場合のアクションをリストから選択します。

低レートしきい値 (LowRateThreshold)

受信レートが低レートのしきい値を設定します。

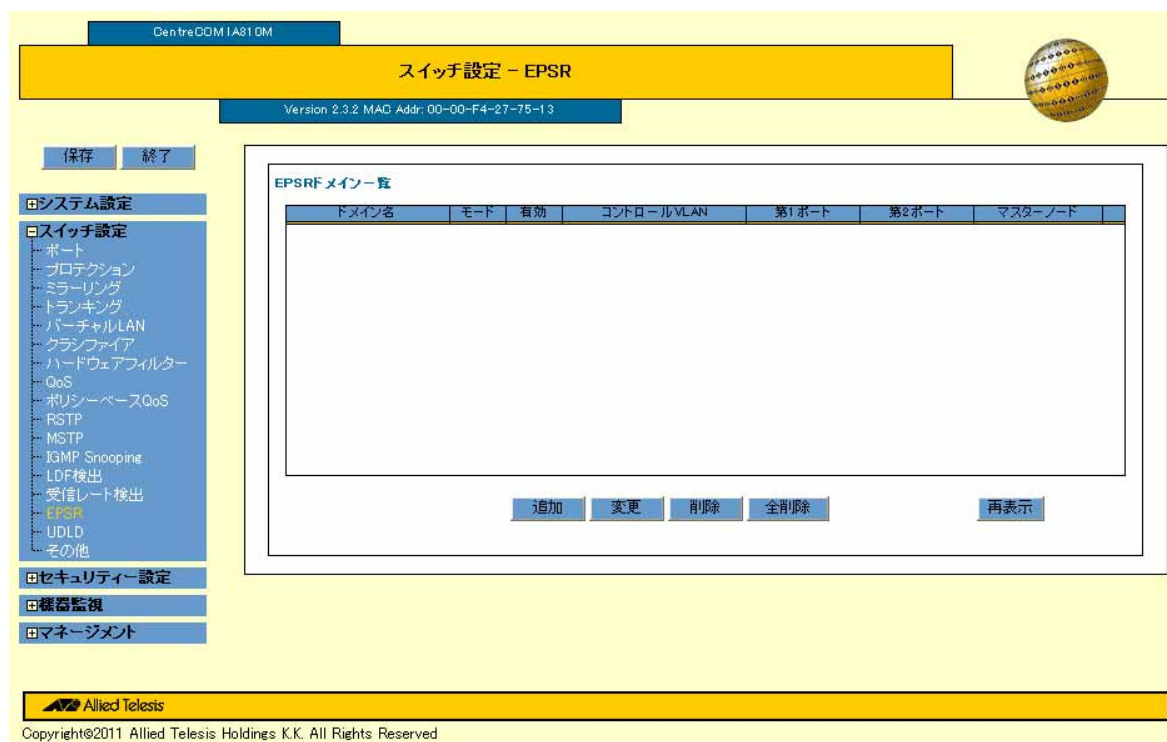
ブロックタイムアウト (BlockTimeout)

アクション実行から実行前の状態への自動復旧の有効 (Enable) / 無効 (Disable) をリストから選択します。有効に設定した場合、アクション実行から復旧までの時間を入力します。

EPSR

イーサネットリングプロテクション (EPSR = Ethernet Protected Switched Ring) のドメインの一覧を表

示します。



「追加」ボタンをクリックすると、「EPSR ドメイン-追加」が表示され、EPSR ドメインを追加することができます。

リストの中から設定を変更したいEPSR ドメインにチェックを付けて、「変更」ボタンをクリックすると、「EPSR ドメイン-変更」が表示され、EPSR ドメインの設定を変更することができます。

リストの中から削除したいEPSR ドメインにチェックを付けて、「削除」ボタンをクリックすると、選択したEPSR ドメインが削除されます。

「全削除」をクリックすると作成済みのEPSR ドメインがすべて削除されます。「全削除」はPURGE EPSRと同じです。EPSR の設定はデフォルト状態に戻ります。

「再表示」ボタンをクリックすると、EPSR ドメインのリストが更新されます。

表示される項目については、SHOW EPSR コマンド（「スイッチング」の98 ページ）を参照してください。

EPSR ドメイン-追加

EPSRFメイン – 追加

EPSRFメイン設定

☐ **本ドメインを有効にする**

EPSRFメイン名 (EpsrDomainName)

モード (Mode)

Aware ▼

マルチキャストアドレス削除 (DeleteMcast)

Disabled ▼

コントロールVLAN (ControlVlan) [VLAN名 or 1-4094]

設定

リセット

データVLAN一覧

データVLAN名	VID

削除

全削除

データVLAN設定

データVLAN (DataVlan) [VLAN名 or 1-4094]

追加

リセット

OK

本ドメインを有効にする
 EPSR を有効にする場合に、チェックを付けます。
 EPSR を無効にする場合に、チェックを外します。

EPSR ドメイン名 (EpsrDomainName)
 EPSR ドメイン名を入力します。

モード (Mode)
 Aware、Transit から選択可能です。

- ✧ 本製品で「モード (Mode)」に Transit を指定し、EPSR アウェア機能に「プリフォワーディング状態での障害回復ポートのブロッキング」と「トラップ送信機能」を追加するには、別売のフィーチャーライセンス IA-FL-01が必要です。

マルチキャストアドレス削除 (DeleteMcast)
 リングトポロジチェンジが発生した場合、IGMP Snooping で使用するマルチキャストアドレスを FDB か

ら削除するかどうかを Enabled（削除する）/Disabled（削除しない）で設定します。

コントロール VLAN (ControlVlan)

EPSR ドメインの動作を制御するための VLAN を VLAN 名または、VID で指定します。

データ VLAN 一覧

保護対象の VLAN の一覧を表示します。

データ VLAN (DataVlan)

保護対象の VLAN を VLAN 名または、VID で指定します。各 EPSR ドメインには複数のデータ VLAN を指定可能です。

EPSR ドメイン-変更

- ※ 「EPSR ドメイン-変更」では、「EPSR ドメイン名 (EpsrDomainName)」、 「モード (Mode)」、 「マルチキャストアドレス削除 (DeleteMcast)」、 「コントロール VLAN (ControlVlan)」の設定は変更できません。

EPSRFメイン - 変更							
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="color: #0070C0; font-weight: bold;">EPSRFメイン設定</div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 本ドメインを有効にする </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>EPSRFメイン名 (EpsrDomainName)</div> <div> <input type="text" value="epsr01"/> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <div>モード (Mode)</div> <div> <div>Aware</div> <div>▼</div> </div> </div> <div> <div>マルチキャストアドレス削除 (DeleteMcast)</div> <div> <div>Disabled</div> <div>▼</div> </div> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>コントロールVLAN (ControlVlan)</div> <div>[VLAN名 or 1-4094]</div> </div> <div> <input type="text" value="2"/> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div>設定</div> <div>リセット</div> </div> </div> </div> </div></div></div>							
<div style="color: #0070C0; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">データVLAN一覧</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #4F81BD; color: white;"> <th style="width: 60%;">データVLAN名</th> <th style="width: 10%;">VID</th> <th style="width: 30%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="height: 150px;"></td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div>削除</div> <div>全削除</div> </div>	データVLAN名	VID					<div style="color: #0070C0; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">データVLAN設定</div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>データVLAN (DataVlan)</div> <div>[VLAN名 or 1-4094]</div> </div> <div> <input style="width: 100%;" type="text"/> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>追加</div> <div>リセット</div> </div>
データVLAN名	VID						
<div>OK</div>							

本ドメインを有効にする

EPSR を有効にする場合に、チェックを付けます。

EPSR を無効にする場合に、チェックを外します。

データ VLAN 一覧

保護対象の VLAN の一覧を表示します。

データ VLAN (DataVlan)

保護対象の VLAN を VLAN 名または、VID で指定します。各 EPSR ドメインには複数のデータ VLAN を指定可能です。

UDLD

UDLD (対向機器との間でフレームの到達性を監視する機能) に関する設定を行います。

UDLD の詳細については、「スイッチング」/「UDLD」をご覧ください。

「スイッチング」/「UDLD」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

スイッチ設定 - UDLD

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

ポート

プロテクション

ミラーリング

トランッキング

バーチャルLAN

クラシファイア

ハードウェアフィルタ

QoS

ポリシーベースQoS

RSTP

MSTP

IGMP Snooping

LDP検出

受信レポート検出

EPSR

UDLD

その他

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント

基本設定

プロブメッセージ送信間隔(Message Time)

15 [7-90](秒)

ポート閉塞時間(Disable Time)

[30-86400](秒)

設定 リセット

ポート設定

ポート	有効	モード
<input type="checkbox"/> 1	Disabled	Normal
<input type="checkbox"/> 2	Disabled	Normal
<input type="checkbox"/> 3	Disabled	Normal
<input type="checkbox"/> 4	Disabled	Normal
<input type="checkbox"/> 5	Disabled	Normal
<input type="checkbox"/> 6	Disabled	Normal
<input type="checkbox"/> 7	Disabled	Normal
<input type="checkbox"/> 8	Disabled	Normal
<input type="checkbox"/> 9	Disabled	Normal
<input type="checkbox"/> 10	Disabled	Normal

変更 全ポート変更

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

基本設定

プロブメッセージ送信間隔 (MessageTime)

UDLD プローブメッセージの送信間隔（秒）を指定します。（7～90）

ポート閉塞時間（DisableTime）

Unidirectional 検出によるポート閉塞の持続時間（秒）を指定します。（30～86400、NONE を入力すると無制限に設定）

ポート設定

スイッチポートの UDLD に関する項目を設定します。

UDLD のポート一覧で、変更するポート番号にチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「UDLD - ポート設定」が表示されます。

「全ポート変更」ボタンをクリックすると、すべてのポートの設定を変更することができます。

UDLD - ポート設定

ポート 1

UDLD設定: Disable

モード: Normal

設定 キャンセル リセット

UDLD 設定

UDLD の有効（Enable）/無効（Disable）をリストから選択します。

モード

UDLD を有効にする場合の動作モードを Aggressive、Normal から選択します。

その他

フォワーディングデータベース

フォワーディングデータベース（FDB）のエージングタイマーに関する設定を行います。

エージングタイマー有効

エージングタイマーを有効にする場合に、チェックを付けます。

エージングタイマーを無効にする場合に、チェックを外します。

エージングタイム

エージングタイムを指定します。

BPDU パケット透過

BPDU パケット透過機能の有効/無効を設定します。

BPDU パケット透過有効

BPDU パケット透過機能を有効にする場合にチェックを付けます。

BPDU パケット透過機能を無効にする場合にチェックを外します。

EAP パケット透過

EAP パケット透過機能の有効/無効を設定します。

EAP パケット透過有効

EAP パケット透過機能を有効にする場合にチェックを付けます。

EAP パケット透過機能を無効にする場合にチェックを外します。

セキュリティ設定

ポートセキュリティ

ポートセキュリティ（MAC アドレスに基づき、ポートごとに通信を許可するデバイスを制限する機能）に関する設定を行います。

ポートセキュリティの詳細については、「スイッチング」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「スイッチング」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

セキュリティ設定 - ポートセキュリティ

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

☐ システム設定
☐ スイッチ設定
☒ セキュリティ設定
 ☒ ポートセキュリティ
☐ 機器監視
☐ マネージメント

ポート一覧

ポート	モード	学習最大	学習数	ロック状態	Intrusion Action
<input type="checkbox"/> 1	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 2	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 3	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 4	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 5	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 6	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 7	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 8	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 9	Automatic	-	-	OFF	Discard
<input type="checkbox"/> 10	Automatic	-	-	OFF	Discard

変更 全ポート変更 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ポート一覧

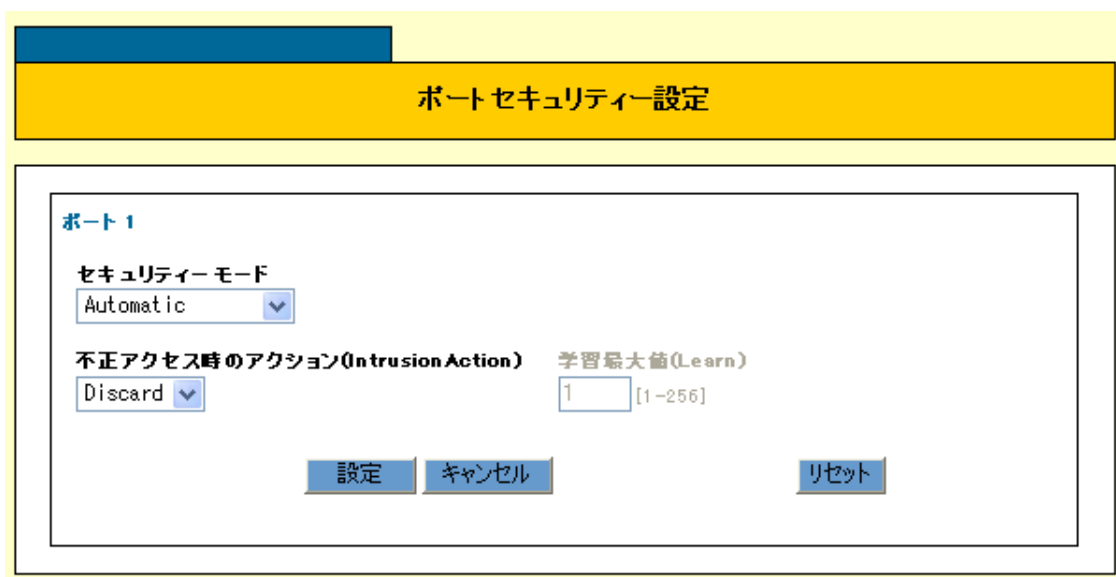
ポートセキュリティの状態が一覧で表示されます。

一覧の中から、設定を変更したいポートにチェックを付け、「変更」ボタンをクリックすると、「ポートセキュリティ設定」が表示されます。

「再表示」ボタンをクリックすると、表示が更新されます。

ポートセキュリティ設定

「ポートセキュリティ設定」で、ポートセキュリティの設定を行います。



ポートセキュリティ設定

ポート 1

セキュリティモード
 Automatic ▼

不正アクセス時のアクション(Intrusion Action) **学習最大値(Learn)**
 Discard ▼ 1 [1-255]

設定 キャンセル リセット

- 1つのポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合は、設定項目には現在の設定が表示されますが、複数のポート番号を選択して「変更」ボタンをクリックした場合には、設定項目はデフォルト値が表示されます。

セキュリティモード

セキュリティモードをリストの中から選択し、設定します。

不正アクセス時のアクション (Intrusion Action)

セキュリティモードで、Limited または Secured 指定時に、不正パケット受信時の動作を設定します。

学習最大値 (Learn)

学習可能な送信元 MAC アドレスの最大数を設定します。

- ポートセキュリティが有効 (Secure モード、Limited モード) なポートに対して、通信を許可するアドレスを手動登録するには、「機器監視」-「FDB」の「スタティックエントリー登録」で、スタティック MAC アドレスを登録します。


機器監視

システム情報

システム情報を表示します。

CentreCOM IA810M

機器監視 - システム情報



Version 2.3.2 MAG Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存
終了

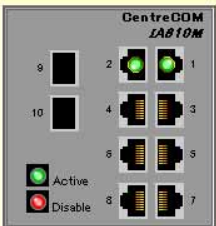
システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

マネージメント



表示更新

自動更新 ☒ する ☐ しない

更新回数 [1-99] (分)

設定

システム情報

SysDescription	CentreCOM IA810M Ver 2.3.2 B04
SysContact	
SysLocation	
SysName	
SysUpTime	771400(02:08:34)
Release Version	2.3.2
Release built	B04 (Apr 21 2011 at 17:34:59)

ハードウェア情報

DRAM	65536 kB
Flash	16384 kB
MAGアドレス	00-00-F4-27-75-13

Flash PROM	RAM	SW chip	UART	温度
Good	Good	Good	Good	Normal


電圧	1.2V	2.5V(A)	2.5V(B)	3.3V
	Normal	Normal	Normal	Normal

平均CPU使用率

Last second	Last minute	Last 5 minutes	Last 15 minutes
2%	4%	4%	4%

詳細情報表示

詳細情報保存



Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ポートの状態表示

ポートの状態は、メインエリアの製品前面の図の中に、下記の状態がグラフィカルに表示されます。



100BASE-TX ポートがリンクしていない状態



100BASE-TX ポートがリンクしている状態



100BASE-TX ポートがリンクしているが、無効の状態



100BASE-FX ポートがリンクしていない状態



100BASE-FX ポートがリンクしている状態



100BASE-FX ポートがリンクしているが、無効の状態

ポートステータス表示

製品前面図の中のポートの部分をクリックすると、「ポートステータス表示」が表示されます。
表示される項目については、SHOW SWITCH PORT コマンド（「スイッチング」の 111 ページ）を参照してください。

ポートステータス表示

ポート 8

ポート名称(Description)	受信可能フレームタイプ(AcceptableFrameTypes)
-	Acceptable All Frames
ポート状態(Status)	セキュリティーモード(SecurityMode)
Enabled	Automatic
リンク状態(LinkState)	ミラーリング対象パケットの向き(Mirroring)
Link Down	None
通信モード(ConfiguredSpeed/Duplex)	ミラーポート(MirrorPort)
Autonegotiate	No
通信速度(Speed)	有効なフロー制御方式(EnabledFlowControl)
-	-
リンクアップからの経過時間(UpTime)	所属トランクグループ(Trunk)
-	-
物理インターフェイス(PortMediaType)	所属タグVLAN名(TaggedVLANs)
Ethernet CSMA/CD	2
ポートの種類(PortType)	所属ポートベースVLAN名(VlanID)
10/100Base-T	default(1)
極性自動切替(AutoMDI)	インGRESSフィルタリング(IngressFiltering)
Enable	Off
極性(Polarity)	ユーザープライオリティー(Priority)
MDI-X	0
ブロードキャストパケットのリミット	
-	
未学習ユニキャストパケットのリミット	
-	
マルチキャストパケットのリミット	
-	

OK

システム情報の自動更新

システム情報は、1分ごとに自動的に更新されます。

自動更新を行いたくない場合は、「自動更新」の「しない」にチェックを付けます。

また、「表示更新」ボタンをクリックすると、手動で情報を更新することもできます。

自動更新の間隔は1～99分に変更できます。

- 自動更新の間隔、自動更新するかしないかの設定は、Cookieに保存されます。Cookieは、同じコンピューターからの同じホストに対する設定を保持し、次のInternet Explorer起動時も、同じ状態になります。Internet Explorerの設定で、Cookieが無効になっていた場合は、次のInternet Explorer起動時は、「自動更新する」、「自動更新の間隔は1分」の設定になります。

システム情報/ハードウェア情報/平均 CPU 使用率

システムの情報が表示されます。

システム情報/ハードウェア情報で表示される項目については、SHOW SYSTEM コマンド（「運用・管理」の 185 ページ）を参照してください。

平均 CPU 使用率で表示される項目については、SHOW CPU コマンド（「運用・管理」の 149 ページ）を参照してください。

詳細情報

「詳細情報表示」ボタンをクリックすると、「システム 詳細表示」が表示されます。

「システム 詳細表示」には、SHOW DEBUG コマンド（「運用・管理」の 151 ページ）の実行結果が表示されます。

「詳細情報保存」ボタンをクリックすると、「システム 詳細表示」で表示される実行結果をテキスト形式で保存できます。

- ＼ 詳細情報を保存している最中に画面表示が更新された場合、ファイルの保存ができません。あらかじめシステム情報の自動更新を「しない」に設定するか、自動更新の間隔を長く設定した上で、保存中は「表示更新」ボタンをクリックしないようご注意ください。



ログ

ログやログカウンターを表示します。

CentreCOM IA810M

機器監視 - ログ

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

☐ システム設定
☐ スイッチ設定
☐ セキュリティ設定
☒ 機器監視
 システム情報
 ログ
 統計カウンター
 FDB
 ハードウェアフィルター
 ポリシーベースQoS
 MSTP
 IGMP Snooping
 LDF検出
 受信レポート検出
 EPPSR
 UDLD
☐ マネージメント

ログカウンター

ログ生成数:	2
Permanentへの出力数:	2
Syslogへの出力数:	0

ログクリア

ログ表示条件

表示順: 古い順 ▼ 表示件数: 3000 [1-3000](件)

ログ表示 ログ保存

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ログカウンター

ログ機能の診断カウンターを表示します。表示される項目については、SHOW LOG COUNTER コマンド（「運用・管理」の166ページ）を参照してください。

「ログクリア」ボタンをクリックすると、ログカウンターがリセットされ、メモリー上のログが削除されます。

ログ表示条件

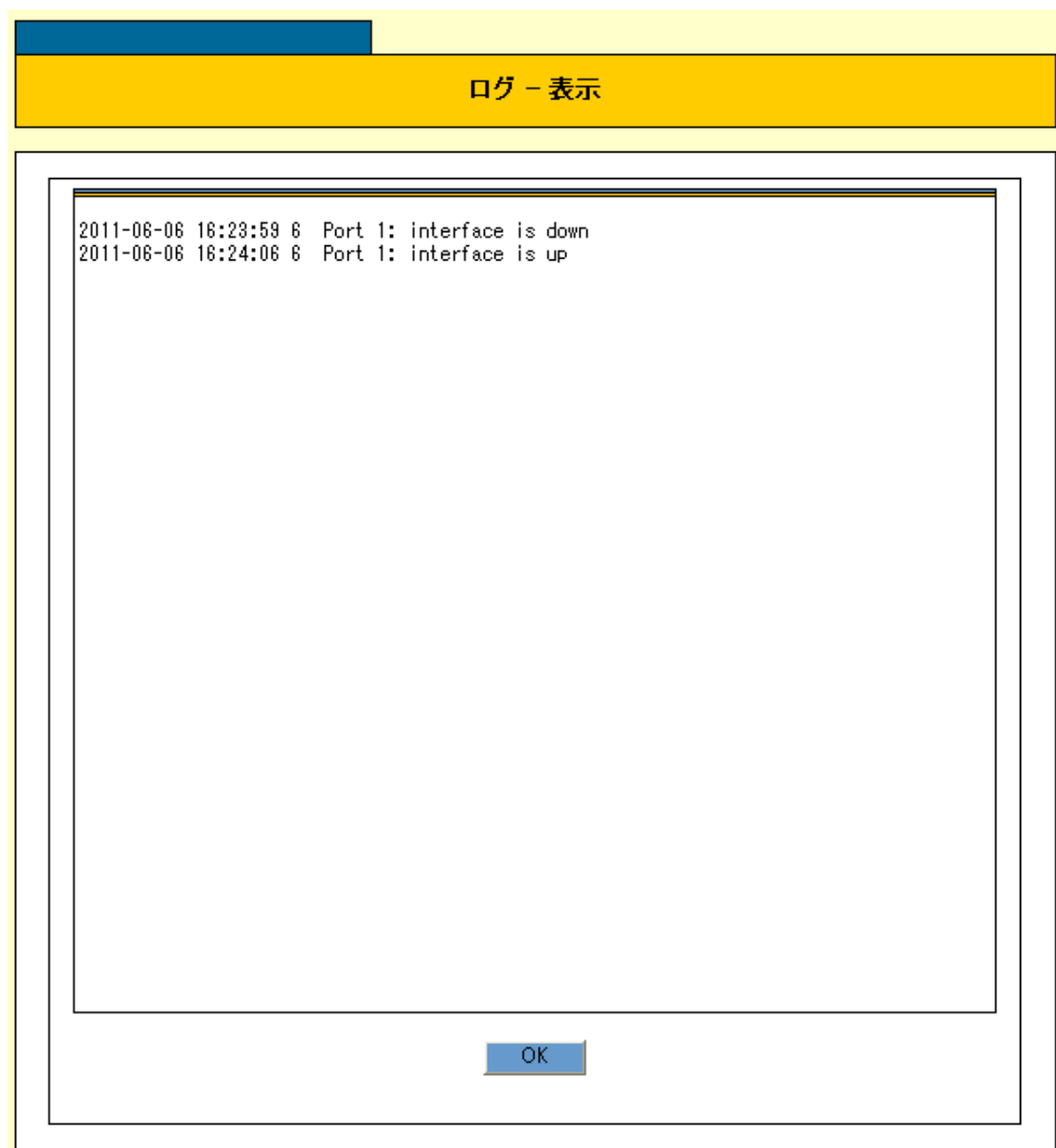
ログの表示順と表示件数を設定します。

「表示順」のリストから、ログの表示順を選択します。

「表示件数」で、表示するログの件数を指定します。

「ログ保存」ボタンをクリックすると、ログがテキスト形式で保存できます。

「ログ表示」ボタンをクリックすると、「ログ - 表示」が表示されます。



統計カウンター

統計情報を表示します。

スイッチカウンター

スイッチングモジュールの統計カウンターを表示します。

表示される項目については、SHOW SWITCH COUNTER コマンド (「スイッチング」の 105 ページ) を参照してください。

CentreCOM IA810M

機器監視 - 統計カウンター

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

☐ システム設定
☐ スイッチ設定
☐ セキュリティ設定
☒ 機器監視

システム情報
 ログ
 統計カウンター
 FDB
 ハードウェアフィルタ
 ポリシーベースQoS
 MSTP
 IGMP Snooping
 LDF検出
 受信レポート検出
 EPSR
 UDLD

☐ マネージメント

スイッチカウンター

受信		送信	
packets: 13589	errors: 0	packets: 5715	errors: 0

カウンタークリア

ポート一覧

ポート	受信	受信(エラー)	送信	送信(エラー)
<input type="radio"/> 1	182058	0	166084	0
<input type="radio"/> 2	169481	0	187595	0
<input type="radio"/> 3	0	0	0	0
<input type="radio"/> 4	0	0	0	0
<input type="radio"/> 5	0	0	0	0
<input type="radio"/> 6	0	0	0	0
<input type="radio"/> 7	0	0	0	0
<input type="radio"/> 8	0	0	0	0
<input type="radio"/> 9	0	0	0	0
<input type="radio"/> 10	0	0	0	0

ポートカウンター表示 全ポートカウンタークリア 再表示

Allied Telesis
 Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ポート一覧

スイッチポートの統計カウンターの簡易一覧が表示されます。

一覧から詳細を表示するポート番号にチェックを付け、「ポートカウンター表示」ボタンをクリックすると、「ポートカウンター表示」が表示されます。

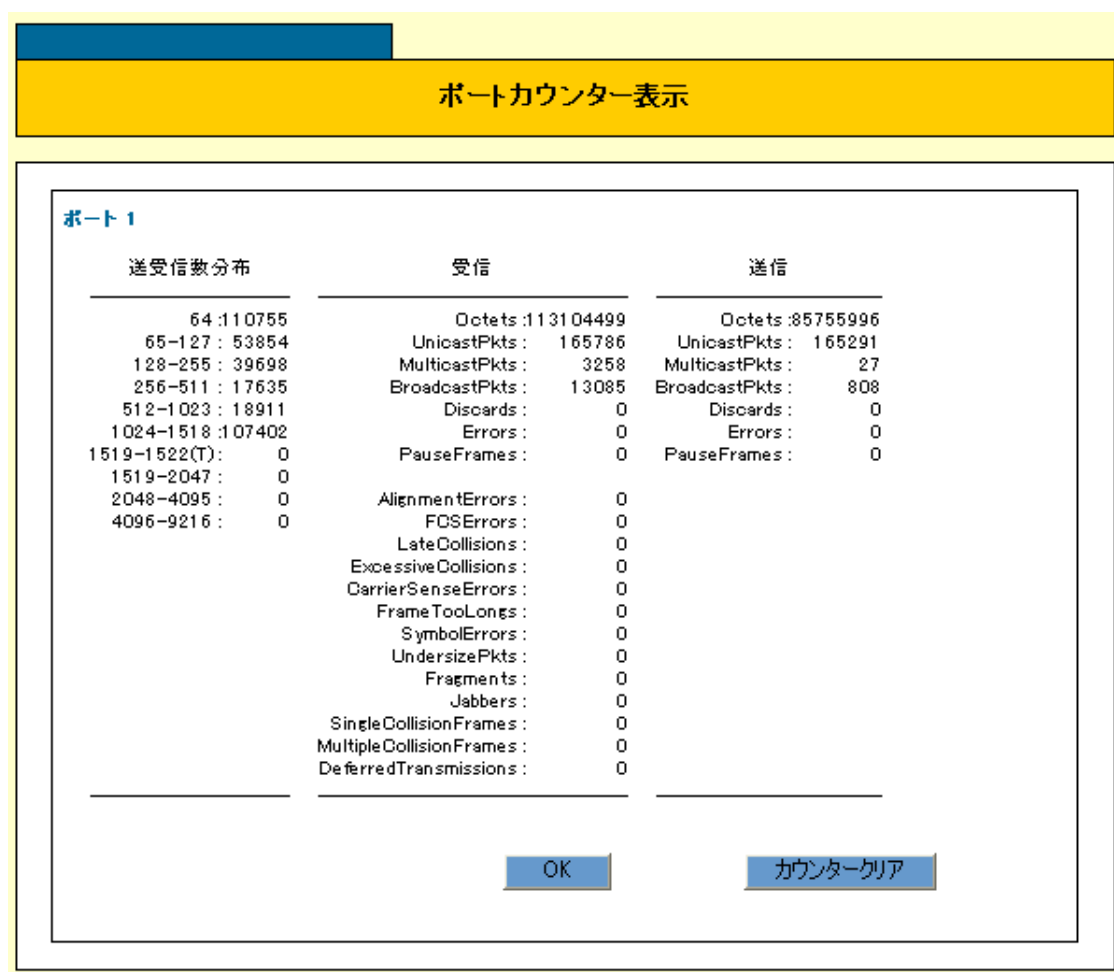
「全ポートカウンタークリア」ボタンをクリックすると、すべてのポートのカウンターがクリアされます。

「再表示」ボタンをクリックすると、統計情報が更新されます。

ポートカウンター表示

「ポートカウンター表示」には、統計カウンターの詳細が表示されます。表示される項目については、SHOW SWITCH PORT COUNTER コマンド（「スイッチング」の 116 ページ）を参照してください。

「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、表示しているポートのカウンターのみがクリアされます。



FDB

フォワーディングデータベース (FDB) の内容を表示します。また、スタティックエントリーの追加も行います。

フォワーディングデータベースの詳細については、「フォワーディングデータベース」/「概要・基本設定」をご覧ください。

「フォワーディングデータベース」/「概要・基本設定」では、コマンドラインインターフェースを使って説明していますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

機器監視 - FDB

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定

スイッチ設定

セキュリティ設定

機器監視

システム情報

ログ

統計カウンター

FDB

ハードウェアフィルタ

ポリシーベースQoS

MSTP

IGMP Snooping

LDF検出

受信レート検出

EPSP

UDLD

マネージメント

FDB表示条件

エントリー種別

None

MACアド レス(MAC)

VLAN名(VID)

トランクグループ名

ポート

1 3 5 7 9

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

2 4 6 8 10

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

FDB表示

リセット

スタティックエントリー登録

ポート番号

VLAN名(VID)

MACアド レス(MAC)

登録

リセット

スタティックエントリー削除

ポート番号

VLAN名(VID)

MACアド レス(MAC)

(※MACアドレス未設定時は、指定ポートの全エントリーが削除されます)

削除

リセット

全ダイナミックエントリー削除

削除

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved.

FDB 表示条件

条件を設定することにより、表示するエントリーを絞り込むことができます。

エントリー種別

エントリーの種別をリストから選択します。

MAC アドレス (MAC)

表示の対象となるアドレスを指定します。

VLAN 名 (VID)

VLAN 名、または VLAN ID を指定します。指定した VLAN に所属するエントリーだけが表示されます。

トランクグループ名

トランクグループ名を指定します。指定したグループに所属するエントリーだけが表示されます。

ポ-ト

該当 MAC アドレスを持つ機器が接続されているポートを指定します。

「FDB 表示」ボタンをクリックすると、「FDB - 表示」が表示されます。

FDB 表示

「FDB - 表示」には、設定された条件にあった FDB が表示されます。

「再表示」ボタンをクリックすると、表示が更新されます。

表示される内容については、SHOW SWITCH FDB コマンド（「フォワーディングデータベース」の 14 ページ）を参照してください。

FDB - 表示

Switch Forwarding Database (Software)

VLAN	MAC Address	Status	Port
1	00-00-cd-37-07-e4	Dynamic	1
1	00-00-f4-27-75-13	Static	CPU
1	00-00-f4-27-75-24	Dynamic	1
1	00-03-93-82-cf-38	Dynamic	1
1	00-06-5b-88-80-41	Dynamic	1
1	00-07-e9-17-df-3a	Dynamic	1
1	00-09-41-38-02-80	Dynamic	1
1	00-0a-79-33-f1-3e	Dynamic	1
1	00-0a-95-8f-34-16	Dynamic	1
1	00-0c-6e-80-fe-73	Dynamic	1
1	00-0d-a2-00-50-39	Dynamic	1
1	00-16-76-6a-e4-4d	Dynamic	1
1	00-19-bb-c5-fc-94	Dynamic	1
1	00-1c-23-22-85-3d	Dynamic	1
1	00-20-4a-84-33-55	Dynamic	1
1	00-21-9b-16-cf-8b	Dynamic	1
1	00-21-9b-20-0f-1a	Dynamic	1
1	00-21-9b-20-1a-93	Dynamic	1
1	00-21-9b-20-1a-de	Dynamic	1
1	00-21-9b-fc-45-08	Dynamic	1
1	00-22-19-d4-4c-7a	Dynamic	1
1	00-23-32-9b-05-00	Dynamic	1
1	00-24-e8-08-ac-56	Dynamic	1
1	00-24-e8-08-ac-a5	Dynamic	1
1	00-24-e8-08-ad-ab	Dynamic	1
1	00-80-87-eb-a7-4c	Dynamic	1
1	a4-ba-db-fd-31-e2	Dynamic	2

再表示
閉じる

スタティックエントリー登録

FDB に、スタティックエントリー（スイッチフィルター）を登録します。

ポート番号

対象となるスイッチポート番号を指定します。

VLAN 名 (VID)

VLAN 名か VLAN ID (VID) を指定します。出力ポートに VLAN タグが設定されている場合に指定します。

MAC アドレス

登録する MAC アドレスを指定します。

「登録」ボタンをクリックすると、スタティックエントリーが登録されます。

スタティックエントリー削除

ポート番号

該当エントリーの出力ポート番号を指定します。

VLAN 名 (VID)

VLAN 名か VLAN ID (VID) を指定します。

MAC アドレス

削除する MAC アドレスを指定します。

「削除」ボタンをクリックすると、スタティックエントリーが削除されます。

全ダイナミックエントリー削除

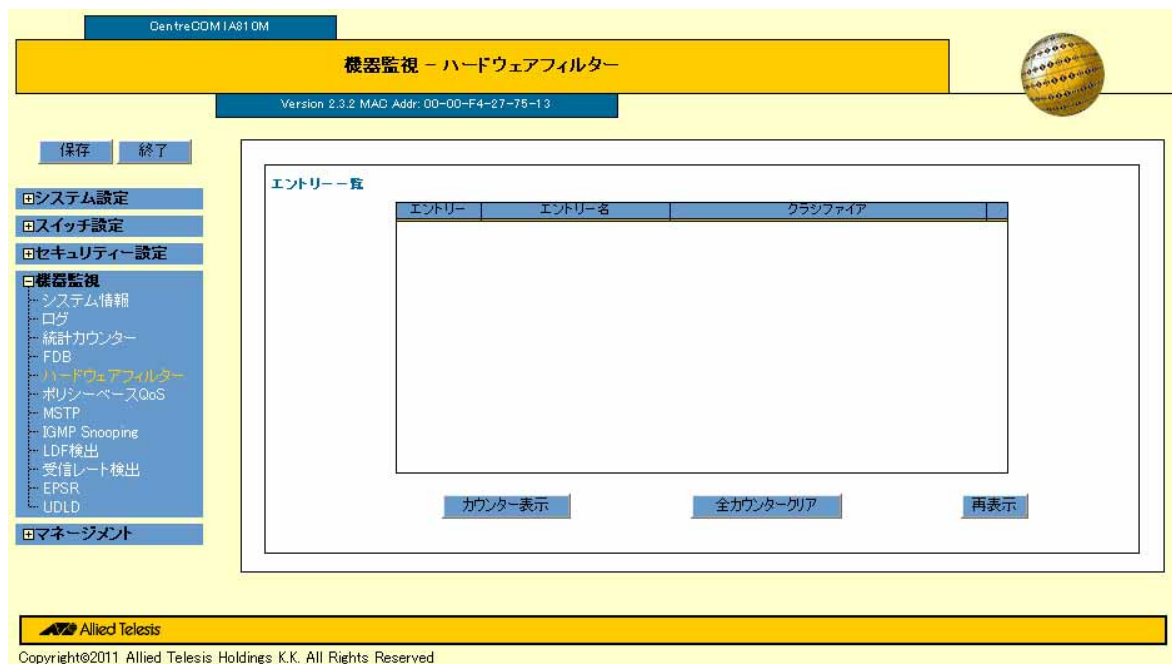
「削除」ボタンをクリックすると、ダイナミックに学習した MAC アドレスの登録がすべて削除されます。スタティックに登録した MAC アドレスは消去されません。

ハードウェアフィルター

ハードウェアフィルターに割り当てられているクラシファイアごとのカウンターの表示やカウンタークリアが行えます。

エントリー一覧の中からカウンターを表示したいエントリーにチェックを付けて「カウンター表示」ボタンをクリックすると、「ハードウェアフィルター カウンター表示」が表示されます。

エントリー一覧に表示されているエントリーのカウンターを一度にクリアする場合は「全カウンタークリア」ボタンをクリックします。エントリーごとにカウンターをクリアにする場合は、「ハードウェアフィルター カウンター表示」で「カウンタークリア」ボタンをクリックします。



ハードウェアフィルタ カウンター表示

カウンターの表示とカウンターのクリアが行えます。

表示される項目については、SHOW ACL COUNTER コマンド (「ハードウェアパケットフィルタ」の 17 ページ) を参照してください。

「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、表示しているハードウェアフィルタに割り当てられているクラシファイアごとのカウンターをリセットします。

ハードウェアフィルター カウンター表示

ACL	Classifier	Hit Counter
1 ACL01	1 Classifier01	0

OK

カウンタークリア

ACL

ハードウェアフィルターのエントリー番号とエントリー名を表示します。設定されていない場合、“ACL エントリー番号”フォーマットで表示します。

Classifier

クラシファイア番号とクラシファイア名を表示します。設定されていない場合、“Classifier クラシファイア番号”フォーマットで表示します。

Hit Counter

フィルターにマッチした数を表示します。

ポリシーベース QoS

ポリシーベース QoS に割り当てられているクラシファイアごとのカウンターの表示やカウンタークリアが行えます。

QoS ポリシー一覧の中からカウンターを表示したい QoS ポリシー番号にチェックを付けて「カウンター表示」ボタンをクリックすると、「QoS ポリシー カウンター表示」が表示されます。

「全カウンター表示」ボタンをクリックすると、すべての QoS ポリシーのカウンターが「QoS ポリシー カウンター表示」で表示されます。

QoS ポリシー一覧に表示されている QoS ポリシーのカウンターを一度にクリアする場合は「全カウンタークリア」ボタンをクリックします。QoS ポリシーごとにカウンターをクリアにする場合は、「QoS ポリシー カウンター表示」で「カウンタークリア」ボタンをクリックします。



QoS ポリシー カウンター表示

カウンターの表示とカウンターのクリアが行えます。

表示される項目については、SHOW QOS POLICY COUNTER コマンド（「QoS」の 70 ページ）を参照してください。

「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、表示している QoS ポリシーのフローグループに割り当てられているクラシファイアごとのカウンターをリセットします。

QoSポリシー カウンター表示

Policy/TrafficClass/FlowGroup Classifier				Hit Counter
1	Policy01			
1	TrafficClass01			
1	FlowGroup01	1	Classifier01	-

OK

カウンタークリア

MSTP

MSTP 統計カウンターの簡易一覧を表示します。

CentreCOM IA810M

機器監視 - MSTP

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

☐ システム設定
☐ スイッチ設定
☐ セキュリティ設定
☒ 機器監視
 システム情報
 ログ
 統計カウンタ
 FDB
 ハードウェアフィルタ
 ポリシーベースQoS
 MSTP
 IGMP Snooping
 LDF検出
 受信レポート検出
 EPR
 UDLD
☐ マネージメント

ポート一覧

ポート	受信	受信破棄	送信
<input type="radio"/> 1	0	0	0
<input type="radio"/> 2	0	0	0
<input type="radio"/> 3	0	0	0
<input type="radio"/> 4	0	0	0
<input type="radio"/> 5	0	0	0
<input type="radio"/> 6	0	0	0
<input type="radio"/> 7	0	0	0
<input type="radio"/> 8	0	0	0
<input type="radio"/> 9	0	0	0
<input type="radio"/> 10	0	0	0

Allied Telesis
 Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

受信

受信した各種 BPDU (STP/RSTP/MSTP BPDU) の総数を表示します。

受信破棄

show mstp counter コマンドで表示される Discarded セクションの合計を表示します。

送信

送信した各種 BPDU (STP/RSTP/MSTP BPDU) の総数を表示します。

ポート番号にチェックを入れ、「ポートカウンター表示」ボタンをクリックすると指定ポートの MSTP 統計カウンターを表示します。

表示される項目については、SHOW MSTP COUNTER PORT コマンド (「スパニングツリープロトコル」の 47 ページ) を参照してください。

MSTP ポートカウンター表示

ポート 1

受信	送信
Total BPDUs :0	Total BPDUs :0
MSTP BPDUs :0	MSTP BPDUs :0
RSTP BPDUs :0	RSTP BPDUs :0
STP BPDUs :0	STP BPDUs :0
Invalid BPDUs :0	

破棄

Port Disabled :0
Invalid Protocol :0
Invalid Type :0
Invalid BPDU length :0

OK

カウンタークリア

IGMP Snooping

IGMP Snooping の設定を表示します。

表示される項目については、SHOW IGMP Snooping コマンド (「IGMP Snooping」の 14 ページ) を参照してください。

CentreCOM IA810M

機器監視 - IGMP Snooping

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 機器監視
 - システム情報
 - ログ
 - 統計カウンター
 - FDB
 - ハードウェアフィルタ
 - ポリシーベースQoS
 - MSTP
 - IGMP Snooping
 - LDF検出
 - 受信レポート検出
 - EPSSR
 - UDLD
- マネージメント

ステータス

```

IGMP Snooping Status ..... Disabled
Host/Router Timeout Interval ..... 260 seconds
Maximum IGMP Multicast Groups ..... 64 (0)
Router Port(s) ..... Auto Detect
      
```

再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

LDF 検出

LDF 検出機能によるカウンターの簡易一覧を表示します。

CentreCOM IA810M

機器監視 - LDF検出

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

- システム設定
- スイッチ設定
- セキュリティ設定
- 機器監視
 - システム情報
 - ログ
 - 統計カウンター
 - FDB
 - ハードウェアフィルタ
 - ポリシーベースQoS
 - MSTP
 - IGMP Snooping
 - LDF検出
 - 受信レポート検出
 - EPSSR
 - UDLD
- マネージメント

ポート一覧

ポート	LDF送信	LDF受信	アクション実行	受信破棄
<input type="checkbox"/> 1	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 2	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 3	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 4	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 5	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 6	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 7	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 8	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 9	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 10	0	0	0	0

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

一覧からカウンターをクリアするポート番号にチェックを付け、「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、選択したポートのカウンターがクリアされます。

「全ポートカウンタークリア」ボタンをクリックすると、すべてのポートのカウンターがクリアされます。

「再表示」ボタンをクリックすると、統計情報が更新されます。

表示される項目については、SHOW SWITCH LOOPDETECTION コマンド（「スイッチング」の 106 ページ）を参照してください。

受信レート検出

受信レート検出機能によるカウンターの簡易一覧を表示します。

CentreCOM IA810M

機器監視 - 受信レート検出

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定
スイッチ設定
セキュリティ設定
機器監視
システム情報
ログ
統計カウンター
FDB
ハードウェアフィルタ
ポリシーベースQoS
MSTP
IGMP Snooping
LDP検出
受信レート検出
EPSR
UDLD
マネージメント

ポート一覧

ポート	高レート検出	アクション実行	低レート検出	アクション実行	受信レート(Kbps)
<input type="checkbox"/> 1	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 2	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 3	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 4	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 5	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 6	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 7	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 8	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 9	0	0	0	0	0
<input type="checkbox"/> 10	0	0	0	0	0

カウンタークリア 全ポートカウンタークリア 再表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

一覧からカウンターをクリアするポート番号にチェックを付け、「カウンタークリア」ボタンをクリックすると、選択したポートのカウンターがクリアされます。

「全ポートカウンタークリア」ボタンをクリックすると、すべてのポートのカウンターがクリアされます。

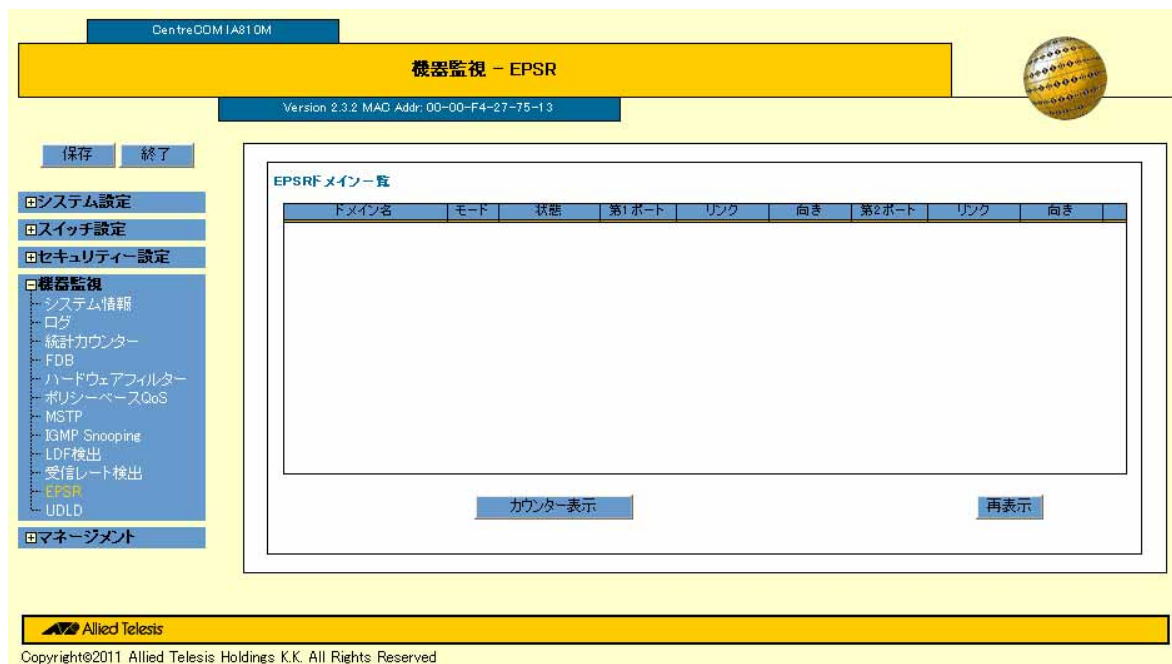
「再表示」ボタンをクリックすると、統計情報が更新されます。

表示される項目については、SHOW SWITCH STORMDETECTION コマンド（「スイッチング」の 121 ページ）を参照してください。

EPSR

EPSR ドメインの一覧を表示します。

表示される項目については、SHOW EPSR コマンド（「スイッチング」の 98 ページ）を参照してください。

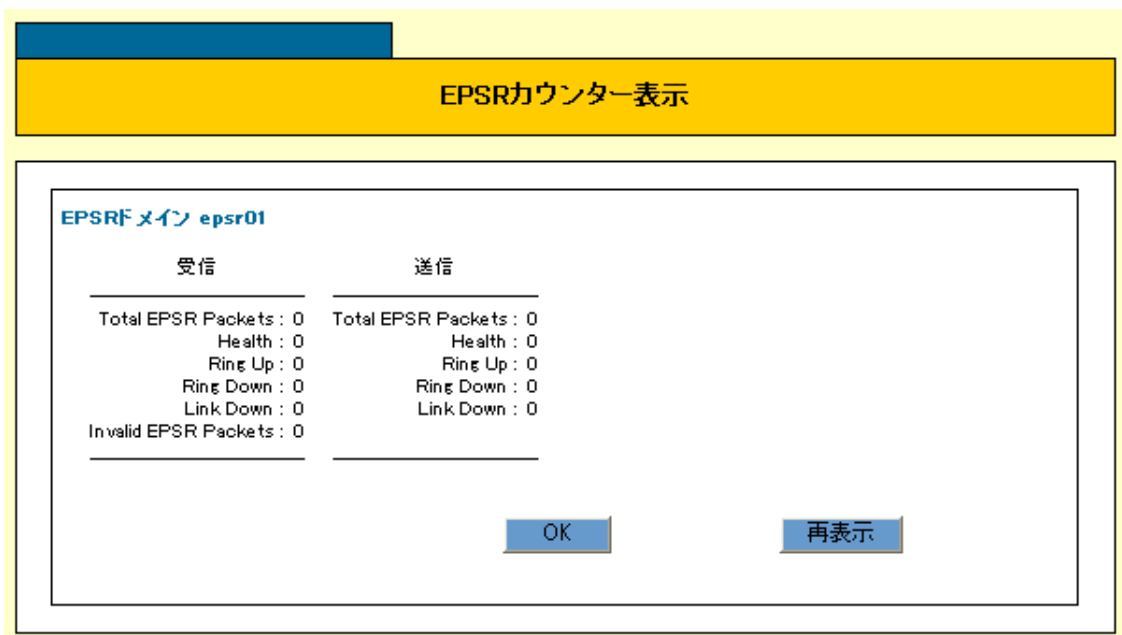


一覧からカウンターを表示する EPSR ドメインにチェックを付け、「カウンター表示」ボタンをクリックすると、選択した EPSR ドメインのカウンターが表示されます。

EPSR カウンター表示

EPSR ドメインの統計統計カウンターが表示されます。

表示される項目については、SHOW EPSR COUNTER コマンド（「スイッチング」の 101 ページ）を参照してください。



UDLD

UDLD の内容を表示します。また、ポートの閉塞解除も行います

UDLD 対向機器表示

UDLD の対向機器の一覧を表示します。

表示される項目については、SHOW UDLD NEIGHBORS コマンド（「スイッチング」の 130 ページ）を参照してください。

CentreCOM IA810M

機器監視 - UDLD

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

☒ システム設定
☒ スイッチ設定
☒ セキュリティ設定
☒ 機器監視
 システム情報
 ログ
 統計カウンター
 FDB
 ハードウェアフィルタ
 ポリシーベースQoS
 MSTP
 IGMP Snooping
 LDF検出
 受信レート検出
 EPSR
 UDLD
☒ マネージメント

UDLD 対向機器表示

UDLD Neighbor Information:

Port	Device-ID	Port-ID	OperState
None...			

再表示

ポート一覧

ポート	UDLD有効	稼働状況	ポート状態
<input type="checkbox"/> 1	Disable	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 2	Disable	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 3	Disable	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 4	Disable	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 5	Disable	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 6	Disable	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 7	Disable	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 8	Disable	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 9	Disable	Unknown	-
<input type="checkbox"/> 10	Disable	Unknown	-

Allied Telesis
 Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

ポート一覧

ポート一覧から UDLD 詳細情報を表示したいポートにチェックを付け、「詳細情報表示」ボタンをクリックすると、「UDLD-ポート詳細情報表示」が表示されます。

「全ポート詳細情報表示」ボタンをクリックすると、すべてのポートの UDLD 詳細情報が「UDLD-ポート詳細情報表示」で表示されます。

「全ポート閉塞解除ボタン」ボタンをクリックすると、すべてのポートの Unidirectional 検出によるポート閉塞状態が解除されます。

UDLD-ポート詳細情報表示

UDLD のポート詳細情報が表示されます。

表示される項目については、SHOW UDLD コマンド(「スイッチング」の 127 ページ)を参照してください。



UDLD - ポート詳細情報表示

UDLD Information:

Port 1

Status Disabled

Bidirectional state Unknown

OK

マネージメント

ポートリセット

スイッチポートをリセットします。リセットを実行すると、オートネゴシエーションプロセスを開始し、ポートの統計カウンターをクリアします。

CentreCOM IA810M

マネージメント - ポートリセット

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

☐ システム設定
☐ スイッチ設定
☐ セキュリティ設定
☐ 機器監視
☒ マネージメント

ポートリセット
 コンフィグファイル
 ファイル管理
 再起動

リセットポート選択 (※FDBダイナミックエントリー、統計カウンター等もクリアされます)

ポート(Ports)				
1	3	5	7	9
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	4	6	8	10
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定 リセット

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

リセットポート選択

リセットするポート番号にチェックを付けます。

「設定」ボタンをクリックすると、選択したポートがリセットされます。

コンフィグファイル

現在の設定内容（メモリー上の設定内容）を保存するスクリプトファイルに関する設定を行います。

コンフィグレーションの詳細については、「運用・管理」/「コンフィグレーション」をご覧ください。

「運用・管理」/「コンフィグレーション」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、Web GUI でも同じことができます。

CentreCOM IA810M

マネージメント - コンフィグファイル

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定
スイッチ設定
セキュリティ設定
機器監視
マネージメント
ポートリセット
コンフィグファイル
ファイル管理
再起動

設定ファイル

起動時設定ファイル
udtest.cfg

起動時設定ファイル変更
udtest.cfg

カレント設定ファイル
udtest.cfg

設定 リセット

設定保存

☒ 起動時設定ファイルに保存する

☐ 既存ファイルに保存する test.cfg

☐ 新規ファイルに保存する

ファイル名

保存 リセット

設定表示

☒ 現在の設定内容を表示する(Dynamic)

表示

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

設定ファイル

起動時に読み込まれるデフォルトの設定ファイル（起動時設定ファイル）を指定します。

「起動時設定ファイル」には、次回起動時に実行される設定ファイル名が表示されます。

起動時設定ファイルを変更したい場合は、「起動時設定ファイル変更」のリストから、変更したい設定ファイルを選択し、「設定」ボタンをクリックします。

「カレント設定ファイル」には、今回の起動時に実行された設定ファイル名が表示されます。

設定保存

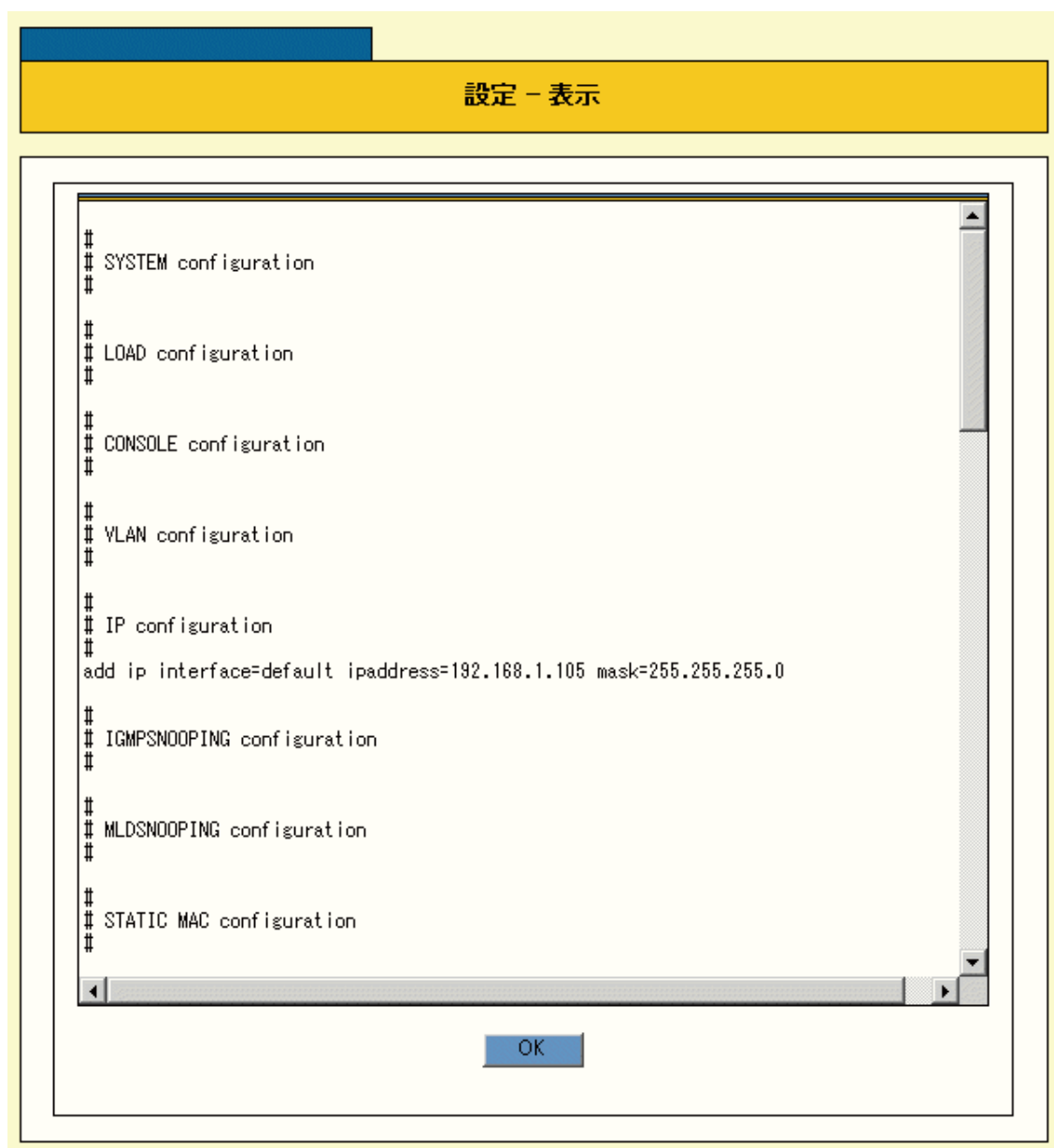
現在の設定内容（メモリー上の設定内容）をスクリプトファイルに保存します。

次の3つの保存方法の中から1つを選択し、「設定」ボタンをクリックすると、現在の設定内容が設定ファイルに保存されます。

- 「起動時設定ファイルに保存する」：「起動時設定ファイル」に設定されている設定ファイルに、設定を保存
- 「既存ファイルに保存する」：選択したファイルに設定を保存
- 「新規ファイルに保存する」：ファイルを新規に作成し、設定を保存

設定表示

「表示」ボタンをクリックすると、現在の設定内容（メモリー上の設定内容）を設定ファイルと同じ形式で表示されます。



ファイル管理

ファイルシステム上のファイル一覧が表示されます。

また、設定ファイルのアップロード・ダウンロード、および、ファームウェアのダウンロードが可能です。

ファイル管理は、Internet Explorer の HTTP 機能を利用します。

また、「ポップアップをブロックする」が有効な場合、本機能を使用することはできません。

「ツール」メニューの「インターネットオプション」を選択し、「プライバシー」の「ポップアップ ブロック」の設定において、本 IP アドレスを許可する設定としてください。

- 本書では、本製品からサーバーなどへのファイルの転送をアップロード、サーバーなどから本製品へのファイル転送をダウンロードと表現します。

ファイル管理の詳細については、「運用・管理」/「ファイルシステム」をご覧ください。

「運用・管理」/「ファイルシステム」では、コマンドラインインターフェースを使って説明をしていますが、次の項目以外は、Web GUI でも同じことができます。

- フラッシュメモリーの初期化
- ファイルのコピー

CentreCOM IA810M

マネージメント - ファイル管理

Version 2.3.2 MAC Addr: 00-00-F4-27-75-13

保存 終了

システム設定
スイッチ設定
セキュリティ設定
機器監視
マネージメント
ポートリセット
コンフィグファイル
ファイル管理
再起動

ファイル一覧

ファイル名	サイズ	作成日時	属性
<input type="radio"/> ia800m_v232.rel	71 391 50	2011-05-25 17:31:11	relpkg
<input type="radio"/> uctest.cfg	1 071	2011-06-01 14:42:52	script

取得 削除

設定ファイルの転送

参照...

実行

ファームウェア情報の変更

インストール種類 Preferred

起動時ファームウェア ia800m_v232.rel

稼働中ファームウェア (Version 2.3.2) ia800m_v232.rel

設定 リセット

ファームウェアの転送

参照...

☒ 転送したファームウェアを、起動時ファームウェアに設定する

☐ ファームウェア更新後、自動的に再起動する

実行

Allied Telesis

Copyright©2011 Allied Telesis Holdings K.K. All Rights Reserved

Web GUI からのファイル管理には、次の制限があります。

- ファイル名を変更できない

ㄟ ファイル名の変更、内容を編集するには、一度設定ファイルをアップロードし、ファイル名の変更、内容の変更を行ってから、ファイルをダウンロードしてください。

ファイル一覧

ファイルシステム上のファイル一覧が表示されます。

ファイルを選択し、ファイルのアップロード、ファイルの削除が行えます。

設定ファイルの転送

設定ファイルを本製品にダウンロードできます。

ファームウェア情報の変更

インストール種類

Preferred 固定。

起動時ファームウェア

次回、起動時に動作させるファームウェアを指定します。

稼働中ファームウェア

稼働中のファームウェアを表示します。

ファームウェアの転送

本製品にファームウェアをダウンロードし、ファームウェアの更新を行います。

転送したファームウェアを、起動時ファームウェアに設定する

転送したファームウェアを、次回、起動時に動作させる場合は、チェックを入れます。

ファームウェア更新後、自動的に再起動する

ファームウェア更新後、自動的に再起動する場合はチェックを入れます。

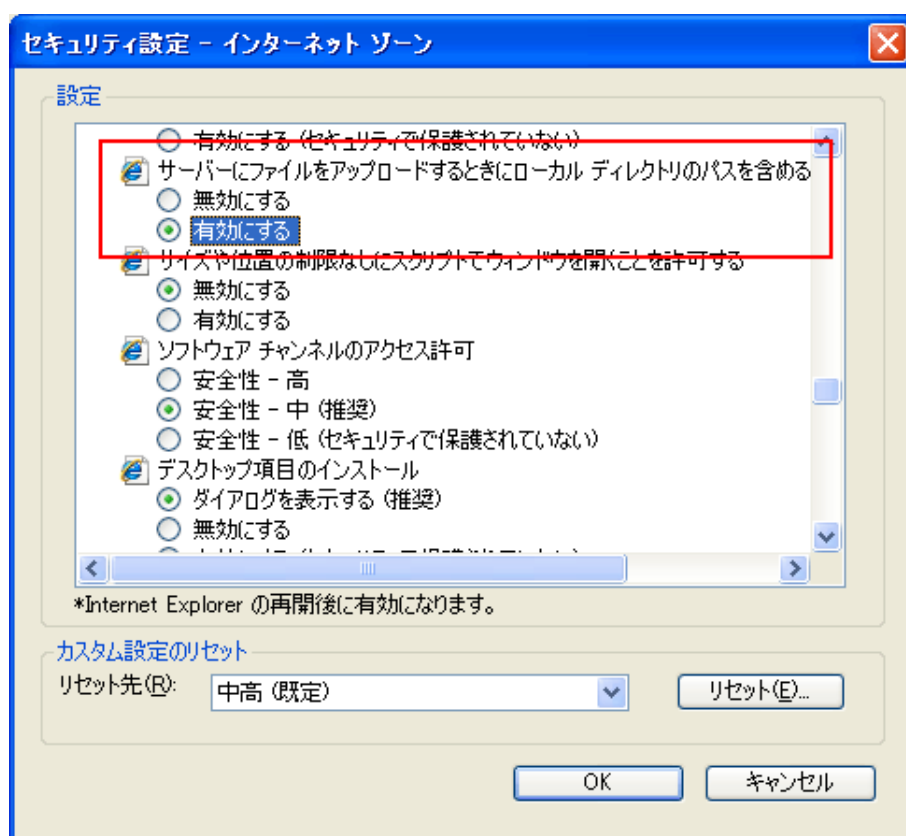
Internet Explorer 7 以上を使用する場合の注意

Internet Explorer 7 以上を使用し、コンフィグファイルやファームウェアを転送する場合、事前に以下の設定を実行してください。

設定

1. 「ツール」メニューの「インターネットオプション」を選択し、「セキュリティ」タブを開きます。
2. 「インターネット」ゾーンの「レベルのカスタマイズ」で「サーバーにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める」を「有効にする」に設定します。

ㄟ 本設定は、Internet Explorer 7 ではデフォルト有効に、Internet Explorer 8 ではデフォルト無効になっています。



Internet Explorer 8 を使用する場合の注意

Internet Explorer 8 で SmartScreen フィルター機能を有効にしていると、設定ファイルの取得に時間がかかる場合があります。この現象を回避するには、以下の方法を実行してください。

設定

1. 「ツール」メニューの「インターネットオプション」を選択し、「セキュリティ」タブを開きます。
2. 「ローカルイントラネット」を選択して「サイト」ボタンをクリックし、「ローカルイントラネット」画面にて「詳細設定」ボタンをクリックします。
3. ファイルダウンロード元のサイトを入力し、「追加」ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

＼ ファイルのダウンロード完了後、設定を元に戻すことを推奨します。

再起動

システムの再起動確認のダイアログボックスが表示されます。

「OK」ボタンをクリックすると、システムが再起動されます。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、元の設定画面に戻ります。

本製品の設定を変更した後、設定を保存しない（メニューエリアの「保存」ボタンが赤い状態）で再起動を選択すると、再起動確認のダイアログボックスに、設定が保存されていないというメッセージが表示されま

す。設定を保存したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、設定を保存してから、再度、再起動を行ってください。「OK」ボタンをクリックすると、設定は保存されません。

